

世界はうつくしいと

w  
01

三年 組 番 氏名(

)

学習目標

○詩を読んで生まれた疑問

○自分にとっての「うつくしいもの」は何だろう。

○再び読んで、詩の印象はどう変わっただろう。

世界はうつくしいと(記入例)

w  
01

三年 組 番 氏名( )

学習目標

語句や表現に着目して詩を読もう

○詩を読んで生まれた疑問

- ・景色は美しいと分かるけれど、挨拶は美しいのかな
- ・どうして老いてゆく人がうつくしいのかな
- ・すべて塵になるからうつくしいとはどういうことかな

○自分にとっての「うつくしいもの」は何だろう。

- ・寒い朝の景色
- ・だれもいなくなった校舎
- ・赤色から紺色にグラデーションとなっている夕日

○再び読んで、詩の印象はどう変わっただろう。

- ・うつくしいものはほんの身近にあった
- ・自分の気もちの持ち方でうつくしくなる

握手①

三年 組 番 氏名( )

学習目標

[Empty box for learning objectives]

○ 新しく習った漢字を覚えよう。

一 漢字・語句の読み

- ① 洗濯場 「」
- ② 代物 「」
- ③ 穏やか 「」
- ④ 鶏舎 「」
- ⑤ 開墾 「」
- ⑥ 監督 「」
- ⑦ 傲慢 「」
- ⑧ 捜す 「」
- ⑨ 遺言 「」
- ⑩ 姓名 「」

二 意味を調べよう

- ① 達者 「」
- ② 年季が入る 「」
- ③ 気前がいい 「」
- ④ 奇妙 「」
- ⑤ いとまごい 「」

○ 場面の内容を確認めよう。

現在

- ・ 上野公園の「」 「で、私と」 「が」
- 待ち合わせ。
- ・ わたしは「」 「を求められる。
- ・ やさしい「」 「だった。
- ・ オムレツを前にして擦り合わせる 「は鳴らない。
- 「」 「は鳴らない。
- ・ フォークを持つ手の不思議な「」 「。
- 「」 「を食べない」 「を」
- 心配するわたし。
- 「」 「は真実を尋ねられない。
- ・ 別れ際、ルロイ先生に「」 「を求めるわたし。
- 「」 「の死。
- ・ 葬式で「」 「を打ち付けるわたし。

過去(思い出)

- ・ わたしが「」 「に入園したとき
- のルロイ修道士の強い「」 「。
- ・ 畑や鶏舎で子供たちの「」 「を作る
- ことに精を出していた「」 「。
- ・ 監察官によりつぶされた「」 「。
- ・ 日本人を憎まず、いつまでたっても 「ルロイ先生。
- 「」 「一度だけ、ぶられたときの思い出。
- ・ 上川君のことが話題になる。

握手①（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

Empty rectangular box for student information.

○ 新しく習った漢字を覚えよう。

一 漢字・語句の読み

- 11 洗濯場 「せんたくば」
- 12 代物 「しろもの」
- 13 穏やか 「おだやか」
- 14 鶏舎 「けいしゃ」
- 15 開墾 「かいこん」
- 16 監督 「かんとく」
- 17 傲慢 「ごうまん」
- 18 探す 「さがす」
- 19 遺言 「ゆいごん」
- 20 姓名 「せいめい」

二 意味を調べよう

- ① 達者 「わざなどが上手なこと」
- ② 年季が入る 「経験を積んで、技などが磨かれている」
- ③ 気前がいい 「金品などを惜しみなく出す」
- ④ 奇妙 「不思議なさま」
- ⑤ いとまじい 「お別れの挨拶をすること」

○ 場面の内容を確認めよう。

現在

- ・ 上野公園の「西洋料理店」で、私と「ルロイ修道士」が待ち合わせ。
- ・ わたしは「握手」 「を求められる」。
- ・ やさしい「握手」 「だった」。
- ・ オムレツを前にして擦り合わせる
- 「てのひら」 「は鳴らない」。
- ・ フォークを持つ手の不思議な「人さし指」。
- ・ 「オムレツ」を食べない「ルロイ修道士」を心配するわたし。
- ・ 「わたし」 「は真実を尋ねられない」。
- ・ 別れ際、ルロイ先生に「握手」 「を求めるわたし」。
- ・ 「ルロイ先生」 「の死」。
- ・ 葬式で「人さし指」 「を打ち付けるわたし」。

過去（思い出）

- ・ わたしが「光ヶ天使園」に入園したときのルロイ修道士の強い「握手」 「」。
- ・ 畑や鶏舎で子供たちの「食料」 「を作ることに精を出していた「ルロイ先生」 「」。
- ・ 監察官によりつぶされた「人さし指」 「」。
- ・ 日本人を憎まず、いつまでたっても「優しかった」ルロイ先生 「」。
- ・ 一度だけ、ぶられたときの思い出。
- ・ 上川君のことが話題になる。

握手②

三年 組 番 氏名(

学習目標

○ 次の言葉から、ルロイ修道士はどんな人柄か考えよう。

ルロイ修道士の言葉	どんな人柄か

○ ルロイ修道士の考え方や生き方について、自分はどうか思うか。

)

握手②（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

ルロイ先生の人柄を読み取ろう

○ 次の言葉から、ルロイ修道士はどんな人柄か考えよう。

<p>ルロイ修道士の言葉</p> <p>ただいまから、ここがあなたの家です。もうなんの心配もいりませんよ。</p>	<p>どんな人柄か</p> <p>孤独な子どももの寂しさを取り去り、包み込もうとする大きな優しさをもつ人</p>
<p>総理大臣のようなことを言っている、それだけでのことですから。</p>	<p>人は謙虚であるべきだし、身分や地位で人は判断されるべきではないという平等な考えを信念にしている人</p>
<p>上川君はいけない運転手です。けれどもそういうときがわたしにはいっとう楽しいのですね。</p> <p>なにも、乳子二代で天使園に入ることはないんです。</p>	<p>自分がかかわった子供の成長を何よりもうれしく思い、それを自分の喜びと感ぜられる人</p> <p>自分の役割の意味を認めつつも、自分がかかわらなくていい境遇が子どもにとって真の幸せだということを十分にわかっている人</p>

○ルロイ修道士の考え方や生き方について、自分はどう思いか。

例  
子供の身になって考え、子どもたちが幸せでいることが自分の幸せだと自然に思えるのがすばらしい。そこには自分の損得という意識はまったくなく、そこがぼくとの大きな違いだと思う。

握手③

三年 組 番 氏名( )

学習目標

○次の部分について、ルロイ修道士に対する「わたし」の思いを考えよう。

考える場面	「わたし」の思い
いくつかの思いでの場面を思い出しているとき	
先生が「困難は分割せよ」と言ったとき	
上野駅の中央改札口で別れようとしているとき	
葬式で 先生の身体じゅうが悪い腫瘍の巣になっていたことを聞いたとき	

○自分が思うこの作品のよさを書いてみよう。

握手③（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

作品のよさについて考え、話し合おう

○次の部分について、ルロイ修道士に対する「わたし」の思いを考えよう。

考える場面	「わたし」の思い
き いくつかの思いでの場面を思い出ししていると	例 優しく温かった先生を尊敬し、心から慕う気持ち。懐かしく、ぬくもりを感じるような気持ち。
先生が「困難は分割せよ」と言ったとき	例 先生の病状を察し、この出会いがお別れの儀式だと悟ったショックと先生の体調への心配。
き 上野駅の中央改札口で別れようとしているとき	例 あえて別れの言葉を口に出さず、先生から前向きな言葉を引き出し、これまでとは逆に、自分が指言葉や握手で先生を励まそうとする思い。
き 葬式で先生の身体じゅうが悪い腫瘍の巣になっていたことを聞いたとき	例 病状を告げることなく無理をおして「わたし」たちに会っていた先生をしっかりとりたい気持ち。

○自分が思うこの作品のよさを書いてみよう。

根拠となる表現を示し、そこから「こう感じる事ができた」ので、この作品は「このようなよさがある」という表現ができているとよい。



評価しながら聞く

w  
05

三年 組 番 氏名(

)

学習目標

--

○メモを取りながら話を聞こう。

メモ

考え・立場

--

○別の話題でも練習しよう。

メモ

考え・立場

--

評価しながら聞く(記入例)

w  
05

三年 組 番 氏名(

)

学習目標

整理しながら話を聞こう

○メモを取りながら話を聞こう。

メモ

考え・立場

○別の話題でも練習しよう。

メモ

考え・立場



学びて時に之を習ふ①

w  
06

三年 組 番 氏名(

)

学習目標

--

○漢文を読むときの約束を知っておこう。

送り仮名・・・

返り点・・・

句読点・・・

○書き下し文を書き写そう。(気に入ったものを二つ選ぼう)

--	--	--	--

学びて時に之を習ふ①(記入例)

w  
06

三年 組 番 氏名(

学習目標

論語という作品を知ろう

○漢文を読むときの約束を知っておこう。

送り仮名・・・送り仮名、助詞・助動詞…歴史的仮名遣い

返り点・・・読む順序 レ点や一・二点など

句読点・・・「」など。原文や句や文の切れ目。

○書き下し文を書き写そう。(気に入ったものを二つ選ぼう)

子曰く「故きを温めて新しきを知れば、以て師為るべし。」と。

※宿題での現代語訳

子曰く「学びて思はざれば即ち罔し。思ひて学ばざれば即ち殆。」と。

※宿題での現代語訳

学びて時に之を習ふ②

w  
07

三年 組 番 氏名(

)

学習目標

--

○論語で伝えようとしていることは何だったんだろう。

--	--	--	--

○日常生活の中で、孔子の言葉があてはまることはないかな。

--

○自分なりの意見をもとう。

--

三年 組 番 氏名( )

学習目標

自分たちの生活から孔子の言葉が当てはまる体験を伝えよう

○論語で伝えようとしていることは何だったんだろう。

いつになっても学ぶことは楽しい 遠くから人が来ていろいろな話をするのも楽しい。自分のことを知らない人もいるだろうけれど そんなこと構うことなく、楽しく学んでいきたいものです。

昔のことを勉強するだけではなく、その中から今に役立つものを見つけたいですね。そういうところがある人じゃないと先生ではないですよ。

教えてもらって自分でよく考えないと真理は見えてきません 自分の考えだけに頼って広く先人の意見や知識に学ばないと危険です。

知識は知っているだけではなく、心で深く受け止めているものにはかきません。心で深く受け止めていても、全身全霊で打ち込んでいるものには到底かないません。

○日常生活の中で、孔子の言葉があてはまることはないかな。

※ぼんやりとでも日常と結び付けられればよしとする。

○自分なりの意見をもとう

※生徒たちなりに持っている摂理のようなものを書かせて交流したい。

三年 組 番 氏名( )

学習目標

--

○この問題について、自分はどうか考え、どう判断するか整理しよう。

問題となること	自分としての考えや判断
---------	-------------

○情報に触れる際に留意することを整理しよう。

インターネット	本	メディアの組み合わせ
---------	---	------------

○情報を扱う留意点を整理しよう。



三年 組 番 氏名（

学習目標

どんな情報なら信用できると言えるのだろうか

○この問題について、自分はどうか考え、どう判断するか整理しよう。

問題となること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に天気は崩れるのか</li> <li>・だれが中止を決めるのか</li> <li>・主催者はどう考えているのか</li> </ul>	自分としての考えや判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の噂ではなくそれぞれの問題について確かな情報がどこにあるのか</li> <li>・を見極めないといけない。</li> </ul>
---------	--	-------------	---

○情報に触れる際に留意することを整理しよう。

インターネット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発信日等</li> <li>・発信者</li> <li>・発信目的</li> </ul>	本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発行年月日</li> <li>・著作者、発行所</li> <li>・前書き、あとがき</li> </ul>	メディアの組み合わせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の比較</li> <li>・信憑性の向上</li> </ul>
---------	--	---	---	------------	---

○情報を扱う留意点を整理しよう。

情報は編集されているという前提を踏まえる。自分も発信者となりうる。

文章の種類を選んで書こう 修学旅行記の編集

三年 組 番 氏名( )

学習目標

--

○修学旅行記にどんな記事を掲載するか、自分のアイデアを整理しよう。

内容	文章の種類	添付

○執筆の分担を決めよう

- 一 前書き… 二 「 …
- 三 「 … 四 「 …
- 五 「 … 六 「 …
- 七 後書き…

文章の種類を選んで書こう 修学旅行記の編集（記入例）

w  
09

三年 組 番 氏名（

学習目標

修学旅行を伝えるためにどんなことを記すとよいだろう

○修学旅行記にどんな記事を掲載するか、自分のアイデアを整理しよう。

内容	文章の種類	添付
施設の概要 交通機関 現地で感じたこと	報道 記録 随筆	家屋 時刻表

○執筆の分担を決めよう

- 一 前書き… 二 「 …
- 三 「 … 四 「 …
- 五 「 … 六 「 …
- 七 後書き…



三年 組 番 氏名（

学習目標

表現を工夫して下書きをかこう

○自分が担当する文章について

施設概要	施設写真
宿泊地での思い出	随筆形式

○文章の下書きをしよう

私たちが宿泊した施設はとても歴史がある建物でした。有名な作家の方も宿泊したことがあるとのことでした。歴史があるせいか、建物が古く、歩くとギシギシ音を立てたことが印象に残っています。建物の写真を見てください。この軒天の深さに特徴が表れています。

見学は初めて訪れる場所ばかりで、大変興味が湧きました。そこでガイドの方から聞いたお話が印象に残っています。それは「ここを訪問した方は、必ず幸せになっている」というものでした。

私たちにはどんな幸せが待っているのでしょうか。

三年 組 番 氏名( )

学習目標

○友達の下書きを読んで、互いに助言し合おう。

相手		よい点		修正点	

○自分の下書きを修正しよう。

三年 組 番 氏名（ )

学習目標

互いに下書きを読み合い、助言しよう。

○友達の下書きを読んで、互いに助言し合おう。

相手	よい点	修正点
A	確 ・文体が分かりやすくなる	・添付資料が分かりにくい

○自分の下書きを修正しよう。

建物の構造を見てください。よく調べてみると、有名な建築家の設計だそうです。その特徴が最もよく表れているのが、窓の形です。そこには・・・

文章の種類を選んで書こう 修学旅行記の編集④

w 12

三年 組 番 氏名(

学習目標

○修学旅行記の評価をしよう。

観点					評価
・読み手に分かりやすい文章の種類を選ぶことができたか。					
・文章の種類に応じた書き方ができたか。					
・内容に応じた資料を添付できたか。					
・紙面構成は見やすいか。					
・修学旅行の楽しさや学びを伝える旅行記とすることができた					

○読み手に分かりやすい修学旅行記の作成を通しての感想を記そう。

--

)



文章の種類を選んで書こう 修学旅行記の編集④（記入例）

w 12

三年 組 番 氏名（

学習目標

清書して修学旅行記を完成させよう。

○修学旅行記の評価をしよう。

観点					評価
・読み手に分かりやすい文章の種類を選ぶことができたか。	3				
・文章の種類に応じた書き方ができたか。	2				
・内容に応じた資料を添付できたか。	3				
・紙面構成は見やすいか。	2				
・修学旅行の楽しさや学びを伝える旅行記となったか。	3				

○読み手に分かりやすい修学旅行記の作成を通しての工夫を記そう。

単なる記録でも、思い出集でもなく、読み手に修学旅行を正しく伝えるつもりで作成できた。添付資料を選んだりすることが楽しかった。事実を伝える部分で指名構成をさらに工夫できるとよかった。

熟語の読み方

三年 組 番 氏名( )

学習目標

○熟語の読み方について整理しよう。

組み合わせ	例
音と音	
訓と訓	
重箱読み	
湯桶読み	
熟字訓	
複数の読み方	

○練習問題に取り組もう

① 次の——線部の熟語を読もう。そのうち、重箱読み・湯桶読み  
読みの熟語を選ぼう。

- ① 峡谷を採検する。
- ② 干潟にすむ生物。
- ③ 喪中のはがき。
- ④ 藍色の反物を贈る。
- ⑤ 川の浅瀬を渡る。
- ⑥ 錦絵の展覧会。
- ⑦ まっすぐで純粹な瞳。
- ⑧ 国王に謁見する。
- ⑨ 蘭玉を飾り付ける。
- ⑩ 錠前を取り付ける。
- ⑪ 患者を治療する。
- ⑫ 碁石を片づける。

② 次のアは音で、イは熟字訓で読もう。

- ① ア甲乙 イ乙女
- ② ア崩壊 イ雪崩
- ③ ア冶金 イ鍛冶
- ④ ア硫酸 イ硫酸

熟語の読み方（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

音読みと訓読みの組み合わせを知ろう

○熟語の読み方について整理しよう。

組み合わせ	例
音と音	着陸（チャク・リク） 整頓（セイ・トン）
訓と訓	着物（き・もの） 長袖（なが・そで）
重箱読み	仕事（シ・ごと） 茶釜（チャ・がま）
湯桶読み	夕刊（ゆう・カン） 手本（て・ホン）
熟字訓	明日（あす） 今年（ことし）
複数の読み方	年月（ネン・ゲツ）（とし・つき）

○練習問題に取り組もう

① 次の——線部の熟語を読もう。そのうち、重箱読み・湯桶読み

- 読みの熟語を選ぼう。
- ① 峡谷を探検する。
  - ② 干潟にすむ生物。
  - ③ 袋中のはがき。
  - ④ 藍色の反物を贈る。
  - ⑤ 川の浅瀬を渡る。
  - ⑥ 錦絵の展覧会。
  - ⑦ まっすぐで純粹な瞳。
  - ⑧ 国王に謁見する。
  - ⑨ 蘭玉を飾り付ける。
  - ⑩ 錠前を取り付ける。
  - ⑪ 患者を治療する。
  - ⑫ 碁石を片づける。

② 次のアは音で、イは熟字訓で読もう。

- ① ア 甲 乙 女
- ② ア 崩壊 イ 雪崩
- ③ ア 冶金 イ 鍛冶
- ④ ア 硫酸 イ 硫黄

## 練習問題解答

- ① ・ ①きょうこく(音音) ②ひがた(訓訓) ③もちゅう(湯桶読み) ④たんもの(重箱読み)  
⑤あさせ(訓訓) ⑥にしきえ(訓訓) ⑦じゅんすい(音音) ⑧えっけん(音音) ⑨まゆだ  
ま(訓訓) ⑩じょうまえ(重箱読み) ⑪ちりよう(音音) ⑫ごいし(訓訓)
- ② ・ ①アこうおつ イおとめ ②アほうかい イなだれ ③アやきん イかじ ④アリゆうさん イ  
いおう

## 漢字に親しもう1 解答

- ① ・ ①ほうしゅう ②きやつか ③はばつ ④ばいしようにきん ⑤かんかつ ⑥こうとう
- ② ・ ①順風満帆 ②情状酌量 ③深山幽谷 ④換骨奪胎
- ③ ・ ①さた ②ろうでん ③そっこう ④こうざい
- ④ ・ ①とぐ(けんま) ②そこねる(そんしつ) ③おのれ(じこ) ④おおやけ(こうきよう) ⑤  
はじめる(さいしよ)

作られた「物語」を超えて

三年 組 番 氏名( )

学習目標

○「物語」が示しているものを整理しよう。

例	物語
ライオンやトラ	
キツネやタヌキ	
ゴリラ	

○観察したゴリラの姿はどうだっただろう。

○「物語」とはどんなものを指しているのだろう。

○人に共通する性質はないだろうか。

作られた「物語」を超えて（記入例）

三年 組 番 氏名（

）

学習目標

物語とは何のことをさしているのだろうか

○「物語」が示しているものを整理しよう。

例	物語
ライオンやトラ	凶暴な動物
キツネやタヌキ	ずる賢い
ゴリラ	暴力の権化、闘い好きな怪物

○観察したゴリラの姿はどうだっただろう。

言葉の代わりとしてドラミング

○「物語」とはどんなものを指しているのだろうか。

印象を基に人間が作り出した幻想

○人に共通する性質はないだろうか。

誤解→噂話→誇張

物語の独り歩き、敵対意識

作られた「物語」を超えて

三年 組 番 氏名(

学習目標

○本文を分けて筆者の論理を整理しよう。

論	序論	本論一	本論二	結論
論理				

○筆者の主張は何だろう。

作られた「物語」を超えて（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

真実を知るためにはどうすべきなのだろう

○本文を分けて筆者の論理を整理しよう。

論	論理
序論	動物たちに関わる大きな間違いとしての物語
本論一	観察から分かるゴリラの性質、物語が隠す真実
本論二	人間に共通する性質
結論	真実をしるために必要なこと

○筆者の主張は何だろう。

- ・文化や社会の理解。
- ・独りよがりな解釈を避ける。
- ・常識を疑う。
- ・自分を相手の立場に置き換える。



学習目標

--

○具体と抽象について整理しよう。

	具体
	抽象

○具体化と抽象化をどう示すとよいだろう。

	具体化
	抽象化

○問題一に取り組もう。

--

○問題二に取り組もう。

--

)

思考のレッスン（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

具体と抽象の關係に目を向けさせて話を組み立てよう

○具体と抽象について整理しよう。

具体	抽象
複数の事例や根拠	筆者の主張、まとめ、要旨、意見

○具体化と抽象化をどう示すとよいだろう。

具体化	抽象化
例えば、具体的には、○○がある	つまり、このように、以上のことから、これらの結果から

○問題一に取り組もう。

例：犬と猫は態度が違う

○問題二に取り組もう。

例：平和とは例えば朝静かなこと

--

説得力のある構成を考えよう①

三年 組 番 氏名(

)

学習目標

--

○スピーチを読んで気づいたことを整理しよう。

	テーマ
	構成
	表現

○自分のテーマと主張、相手を決めよう。

	テーマ
	主張
	相手

○構成を整理しよう


説得力のある構成を考えよう①

三年 組 番 氏名( )

学習目標

スピーチとして大切なことを見つけよう

○スピーチを読んで気づいたことを整理しよう。

テーマ	構成	表現
社会問題に目を向けている。	話の筋道が分かりやすい根拠が示されている。	疑問形などが入り面白

○自分のテーマと主張、相手を決めよう。

テーマ	主張	相手

○構成を整理しよう

<p>はじめ、中、終わりと分けても、序論、本論、結論と分けても、主張、根拠や資料、主張としても、導入、説明や根拠、主張と分けてもよい。全体を3つに分けて構成することは揃えたい。</p>
--

説得力のある構成を考えよう①

三年 組 番 氏名(

学習目標

--

○構想メモを作成しよう。(参考P・53)



)

説得力のある構成を考えよう①

w 18

三年 組 番 氏名( )

学習目標

相手にとって分かりやすいスピーチの構想を考えよう

○構想メモを作成しよう。(参考P・53)

導入	資料提示	結論
<p>三つに分けることは統一しましたが、それぞれの論等の名称は工夫しましょう。 基本的には「はじめ—中—終わり」となります。</p>		

<p>交流後修正できるように、枠を二つ設けました</p>		
------------------------------	--	--

説得力のある構成を考えよう①

三年 組 番 氏名( )

学習目標

○スピーチを聞いて評価しよう。

質疑応答用メモ	資料	声の大きさ	分かりやすい言葉	聞き手の反応	熱意や感情	観点	評価
質疑応答用メモ	資料	声の大きさ	分かりやすい言葉	聞き手の反応	熱意や感情	観点	評価

説得力のある構成を考えよう①

三年 組 番 氏名( )

学習目標

相手にとって分かりやすいスピーチにしよう

○スピーチを聞いて評価しよう。

資料	声の大きさ	分かりやすい言葉	聞き手の反応	熱意や感情	観点
	A	C	B	A	評価
質疑応答用メモ ※聞きながらメモさせる。 自分の考えも記述してよい。	声の大きさ	分かりやすい言葉	聞き手の反応	熱意や感情	観点
	資料				評価



漢字に親しもう

三年 組 番 氏名(

学習目標

--

○新出漢字を確認しよう。


○意味を調べよう

- |         |        |        |        |        |        |        |        |        |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 某所 ...  | 親睦 ... | 探偵 ... | 模倣 ... | 発端 ... | 宗家 ... | 寿命 ... | 実兄 ... | 石高 ... |
| 泡立つ ... | 同僚 ... | 僧侶 ... | 俊敏 ... | 発言 ... | 宗派 ... | 命令 ... | 兄弟 ... | 宝石 ... |

漢字に親しもう

三年 組 番 氏名(

学習目標

漢字について自信をつけよう

○新出漢字を確認しよう。

				某
				ボウ
				泡
				あホウ わウ

○意味を調べよう

某所…  
親睦…  
探偵…  
模倣…  
発端…  
宗家…  
寿命…  
実兄…  
石高…

泡立つ…  
同僚…  
僧侶…  
俊敏…  
発言…  
宗派…  
命令…  
兄弟…  
宝石…

)

## 漢字に親しもう2 解答

- ① ①ぼうしょ ②あわだつ ③しんぼく ④どうりょう ⑤ぞうきん ⑥におい
- ② ①ア遭難 イ水槽 ②ア懇談 イ開墾 ③ア貫徹 イ撤去 ④ア儉約 イ冒険 ⑤ア伯仲 イ舶
- 来
- ③ ①たんでい ②そうりょ ③もほう ④しゅんびん
- ④ ①ほったん はつげん ②そうけ しゅうは ③じゅみょう めいれい ④じっけい きょうだい
- ⑤ ⑤こくだか ほうせき

三年 組 番 氏名( )

学習目標

○ 自分ならすいかを幾つ買いますか。

個買う

○ 母親はどう伝えるとよかったのだろうか。

□ 練習問題に取り組みよう

▼ 次の文の文節や連文節の対応を整えて、読みやすくなるように書き直そう。

- ① 私の夢は、人の役に立つ仕事が見たいです。
- ② 兄が何かおもしろいことを言っていて、妹に笑わせている。
- ③ 僕には、加山さんが問題を深刻に捉えすぎているように思う。
- ④ 私が絵を習い始めたきっかけは、親友に絵をはめてもらったこと、美術館で見たゴッホの絵に感激したことが、きっかけです。

▼ 次の文は、二通りの解釈ができる。それぞれの解釈がわかりやすく伝えるように、読点を打ったり、文節の順序を入れ替えたりして直してみよう。

- ① 上野さんは高橋さんと松本さんに町の歴史をきいた。
- ② 私は兄のようにスポーツが得意ではない。
- ③ 昨日完成した卒業アルバムが職員室に届いた。
- ④ 水谷さんは図書館にある本を運んだ。

▼ 次の――線部の助詞を「」内の助詞と置き換えて比較し、意味や表現効果について考えよう。

- ① 米洗ふ前に蜜の二つ三つ  
作者未詳  
「を・へ」
- ② 六月を奇麗な風の吹くことよ  
正岡子規  
「に・は」
- ▼ 次の( )の中に「」内の助詞を入れ、それぞれの使い分けについて考えよう。
- ① 僕は校庭へ( )走った。  
「へ・で・を」
- ② 明日( )晴れるだろう。  
「は・も・こそ」

▼ ――線部の呼応の副詞に対応する言葉を入り、……に合う内容を考えて短文を作ろう。

- ① まるで絵画の( )……。
- ② たとえ月日が流れ( )、私は決して……( )。

三年 組 番 氏名（

学習目標

文法に沿って文章を見直してみよう

○ 自分ならすいかを幾つ買いますか。三個買う。 一個買う。

○ 母親はどう伝えるとよかったのだろうか。

すいかを一個と桃を三個買ってきてほしい。

□ 練習問題に取り組もう

▼ 次の文の文節や連文節の対応を整えて、読みやすくなるように書き直そう。

- ① 私の夢は、人の役に立つ仕事が見たいです。
- ② 兄が何かおもしろいことを言っていて、妹に笑わせている。
- ③ 僕には、加山さんが問題を深刻に捉えすぎているように思う。
- ④ 私が絵を習い始めたきっかけは、親友に絵をはめてもらったこと、美術館で見たゴッホの絵に感激したことが、きっかけです。

▼ 次の文は、二通りの解釈ができる。それぞれの解釈がわかりやすく伝わるように、読点を打ったり、文節の順序を入れ替えたりして直してみよう。

- ① 上野さんは高橋さんと松本さんに町の歴史をきいた。
- ② 私は兄のようにスポーツが得意ではない。
- ③ 昨日完成した卒業アルバムが職員室に届いた。
- ④ 水谷さんは図書館にある本を運んだ。

▼ 次の――線部の助詞を「」内の助詞と置き換えて比較し、意味や表現効果について考えよう。

- ① 米洗ふ前に蜜の二つ三つ  
作者未詳  
「を・へ」
- ② 六月を奇麗な風の吹くことよ  
正岡子規  
「に・は」
- ▼ 次の（ ）の中に「」内の助詞を入れ、それぞれの使い分けについて考えよう。
- ① 僕は校庭（ ）走った。  
「へ・で・を」
- ② 明日（ ）晴れるだろう。  
「は・も・こそ」

▼ ――線部の呼応の副詞に対応する言葉が□に入れ、……に合う内容を考えて短文を作ろう。

- ① まるで絵画の□……。
- ② たとえ月日が流れ□、私は決して……□。

実用的な文章を読もう

W  
22

三年 組 番 氏名( )

学習目標

○ 実用的な文章にはどんなものがあるだろう。

○ やってみよう①

○ やってみよう②

○ やってみよう③

実用的な文章を読もう（記入例）

W  
22

三年 組 番 氏名（

学習目標

大切なことを伝える文章の工夫を読み取ろう

○ 実用的な文章にはどんなものがあるだろう。

広告、商品説明

○ やってみよう①

言葉がやさしい、必要なことだけ

○ やってみよう②

日本以外の国で使うと壊れることがあるよ。

一個のコンセントにドライヤーだけ差して使うんだよ。

○ やってみよう③

自分で組み立てます。

自分で防犯登録を行います。

)

報道文を比較して読もう

三年 組 番 氏名(

学習目標

	記事 A	記事 B	着眼点	気づいたこと 考えたこと
見出し			受け取る印象はどう違うか	
リード文			使われている言葉などに着目し、書き手が何を伝えようとしているかを読み取る。	
本文			<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような事実を報じているか。</li> <li>・どんな立場から述べられているか。</li> </ul>	
写真			<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな場면을写したもののか。</li> <li>・その写真を取り上げた意図。</li> </ul>	

)



報道文を比較して読もう(記入例)

三年 組 番 氏名(

学習目標

報道文を比較するとどんな違いが見えてくるだろう

	記事 A	記事 B	着眼点	気づいたこと 考えたこと
見出し	東京 2020 へまず… 史上最大	議論尽きぬ中募集… 期待も批判も	受け取る印象はどう違うか	A は期待できる内容  B はもめている印象を与えようとしている
リード文	史上最大のボランティア	やりがい搾取 集まるのか	使われている言葉などに着目し、書き手が何を伝えようとしているかを読み取る。	A は  B は
本文			<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような事実を報じているか。</li> <li>・どんな立場から述べられているか。</li> </ul>	A は  B は
写真	笑顔でらしを配る	お願いをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな場面を写したのか。</li> <li>・その写真を取り上げた意図。</li> </ul>	A は  B は

俳句の可能性①

三年 組 番 氏名(

学習目標

--

- 俳句を朗読し世界を想像しよう。
- それぞれの意味を確認しよう。

無季俳句	自由律俳句	切れ字	歳生地	有季定型	季語

- 筆者の俳句に対する思いを読み取ろう。

--

俳句の可能性①（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

俳句の特徴を知ろう

○ 俳句を朗読し世界を想像しよう。

○ それぞれの意味を確認しよう。

季語	特定の季節を表す言葉
有季定型	季語があり五七五となっている
歳時記	季語を集めた書物
切れ字	かな、や、けり 感動、詠嘆、断言
自由律俳句	音数や季語、切れ字などがない
無季俳句	季節を持たない、季語もなくてもよい

○ 筆者の俳句に対する思いを読み取ろう。

韻文こそ、季語こそ

あいさつの気もちやカメラで切り取るつもりで

瞬間の気もちを映したい

三年 組 番 氏名(

)

学習目標

○俳句の鑑賞文を書こう。

鑑賞文

俳句の可能性②(記入例)

W 25

三年 組 番 氏名( )

学習目標

俳句をじっくり味わおう

○俳句の鑑賞文を書こう。

咳をしても一人

鑑賞文

字足らずであることから、一人感が強く出ている。

助けを求めようにも求める相手がいないのか、病気で床に臥せているのか、孤独感が強い。

たぶん寒い冬、ふとんの中かもしれない。自分の死を覚悟している時なのではないか。

俳句の可能性③

三年 組 番 氏名(

)

学習目標

○ 俳句の作り方を整理しよう。

一

二

三

○ 俳句をつくろう

一

二

三

○ 選出作品

鑑賞文

俳句の可能性③（記入例）

w  
26

三年 組 番 氏名（

）

学習目標

俳句をつくって楽しもう

○ 俳句の作り方を整理しよう。

一 言いたいことを短い文にする。

二 五・七 もしくは 七・五でつくる。

三 季語を足す。

○ 俳句をつくろう

一 毎朝起きるのが大変だ。

二 たいへんだ まいあさきちんと まいあさの ルーティンつらい。

三 毎朝の ルーティン つらい 冬の朝。

○ 選出作品

※ 選ばれた作品を記入させる

鑑賞文

※ 選ばれた作品について情景や特徴を書く

言葉を選ぼう

三年 組 番 氏名(

w  
27

学習目標

--

○ 時代や世代による言葉の変化

時代による 言葉の変化	世代による 言葉の変化

○ 言い換えの練習をしよう。

老人ホーム で	小学三年生 の弟に



言葉を選ぶほう（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

私たちが使っている言葉を見直そう

○ 時代や世代による言葉の変化

時代による 言葉の変化	うつくし 平安時代…かわいい 現代…美しい
世代による 言葉の変化	カッパとレインコート サクサクという表現

○ 言い換えの練習をしよう。

老人ホーム で	来月 駅のそばのスタジアムに有名人がたくさんきて 音楽の演奏をしてくれ ます。詳しいことはまた伝えに來ます。めったにないことなのでお楽しみに。 。
小学三年生 の弟に	来月有名人のコンサートが駅の近くであるから 行ってみよう 詳しいことは サイトで調べておくれ。 こんな有名な人が一度に來ることはないらしいから、楽しみだね。 。

言葉を選ぼう

三年 組 番 氏名(

学習目標

--

○ 言葉による印象の違いを整理しよう。

サポート	支援	手助け

○ 言葉を整理しよう。

混種語	外来語	漢語	和語

○ 言い換えてみよう。

ポジティブ	バリアフリー

言葉を選ぼう（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

言葉を選んで使いこなそう

○ 言葉による印象の違いを整理しよう。

手助け	お年寄りが対象かなと思える
支援	収入を助けるためにお買い物をしてくださいということか
サポート	病院でもあるのかな

○ 言葉を整理しよう。

和語	日本で使われていた、親しみ、意味
漢語	漢字の音読み、固い語感、抽象的
外来語	漢語以外の外国から取り入れた、新しいもの、造語
混種語	和語・漢語・外来語の組み合わせ

○ 言い換えてみよう。

ポジティブ	積極的
バリアフリー	障害がない

言葉を選ぼう

三年 組 番 氏名(

)

学習目標

○ 読書の楽しみ方を知ろう。

ブックトーク	
読書会	
読書生活をデザインする	

○ ブックトークをしよう。

言葉を選ぼう(記入例)

三年 組 番 氏名( )

学習目標

ブックトークをしよう

○ 読書の楽しみ方を知ろう。

ブックトーク	テーマを決めて本を紹介しよう。
読書会	共通の本を読み合い、テーマを決めて交流する。
読書生活をデザインする	読書記録、読書傾向、

○ ブックトークをしよう。

ものの仕組み

ものづくりがテーマだった。ものづくりができることはとても意義がある。

しかし根本的な仕組みが分かっているなければ、夢で終わる。

これから社会でものづくりを進めていこうする基盤として、仕組みを知りたいと考えた。

思いもよらぬ先人の知恵に出会えることがこの本のすばらしさである。

「私の一冊」を探しにいこう

三年 組 番 氏名(

)

学習目標

--

○本の探し方を知ろう。


○ポップを作ろう

--

--

「私の一冊」を探しにいかう（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

本の探し方についてじっくり考えよう

文庫本等の紹介文	あら筋などが分かる。
ポップなど	特徴や重点が分かりやすい。
書評	客観的な見方が分かる。
著者の言葉	著者本人の書いた切り口が分かる。
ジャンル、インターネット	広く、客観的に

○本の探し方を知ろう。

○ポップを作ろう。

※生徒の自由な発想でかかせる

三年 組 番 氏名(

)

学習目標

--

○ 原爆について知ろう

○ 「顔」が表現しようとしているものは何だろう。



三年 組 番 氏名( )

学習目標

「顔」が表現しようとしているものを探ろう

○ 原爆について知ろう。

・第二次世界大戦、広島、長崎

・放射能と高熱を発する大型爆弾

・瞬時に多量の命を奪う。

・深い傷、後遺症

○ 「顔」が表現しようとしているものは何だろう。

・そこにある命そのもの

・人の人生

・犯せない価値

※生徒の感性で、時間をかけて考えさせる。



三年 組 番 氏名( )

学習目標

詩の表現はどんな効果をもたらしているだろう

○ 午前八時十五分は 毎朝やってくる ○ 油断

継続する課題

他人のせいにならない

持ち続けていかなければならない課題

自分の課題

手が出せない他人の価値

○ 筆者が伝えようとしたこと、自分が思うこと

原爆の様子をもとに、読者各自のイメージをもたせ、生き方に目を向けさせる効果がある。

逃げないように自分の人生を生きていこう。

.....

故郷①

三年 組 番 氏名(

学習目標

--

○ 登場人物を整理しよう。


○ ルントウと私の関係を整理しよう。

希望	今	昔	
			ルントウ
			私

故郷①（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

登場人物の関係を整理しよう。

○ 登場人物を整理しよう。

私	県知事 衰退した実家を閉じる
ルントウ	使用人の息子
ヤン	筋向いの豆腐屋の看板娘
ホンル	私の甥
シヨイシヤン	ルントウの息子

○ ルントウと私の関係を整理しよう。

	ルントウ	昔	今	希望
	ルントウ	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 艶の良い丸顔</li><li>・ きらきら光る銀の首輪</li><li>・ 小英雄</li><li>・ 神秘の宝庫</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 黄ばんだ顔色、ひびわれた手</li><li>・ 貧困</li><li>・ でくのぼうみたいな人間</li><li>・ 打ちひしがれて心が麻痺</li></ul>	相変わらずの偶像崇拜
	私	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 高い塀の中庭から四角な空を見上げるだけ</li><li>・ 別れがつらくて、声をあげて泣いた</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 知事様</li><li>・ お金持ち</li></ul>	手製の偶像

故郷②

三年 組 番 氏名( )

学習目標

○故郷の様子、ルントウ、ヤンおばさんの描写の変化を整理しよう。

現在	回想	
		故郷の様子
		ルントウ
		ヤンおばさん

○「悲しむべき厚い壁」とは何を示しているのだろう。

.....

.....

.....

.....

三年 組 番 氏名( )

学習目標

回想の場面と現在の場面での描写の違いを読み取ろう。

○故郷の様子、ルントウ、ヤンおばさんの描写の変化を整理しよう。

現在	回想	
わびしい村		故郷の様子
黄ばんだ顔色、深いしわ 目の周りが赤く腫れる 古ぼけた毛織の帽子 薄手の綿入れ一枚 松の幹のような指 旦那様	父親に溺愛される 神秘の宝庫 丸々とした手 おまえ	ルントウ
頬骨の出た 唇の薄い コンパスのような姿 ふくれっ面 駄賃欲しさ	豆腐屋小町 おしろい	ヤンおばさん

○「悲しむべき厚い壁」とは何を示しているのだろう。

身分の違いや収入の違い

住む社会の違い

変化する自分と変わらない故郷やそこに住む人々

三年 組 番 氏名( )

学習目標

○ 「希望」や「私」が望む社会についてどんなことを指しているのか、考えを整理しよう。

ホングルとシヨイシユンの関係から

新しい生活

手製の偶像

「希望」、望む社会



故郷③(記入例)

W  
35

三年 組 番 氏名(

学習目標

「希望」とはどんなことを指しているのだろう

○ 「希望」や「私」が望む社会についてどんなことを指しているのか、考えを整理しよう。

ホンルとシヨイシユンの関係から

身分や収入だけでなく、つながりあえる人間関係

新しい生活

人が人として生きられるような自由で平等を求められる社会

手製の偶像

願っているだけで到底たどりつけないものを求めるのはだれでも同じか

「希望」、望む社会

社会制度から変えなくてはいけないだろうが、幻想かもしれない

望むことが幸せか、望まない方が幸せか分からない？ **結局は望んでいる。**

三年 組 番 氏名(

)

学習目標

○「私」の考え方についてどう思うか整理しよう。

○「故郷」という作品の批評をしてみよう。

三年 組 番 氏名(

学習目標

「私」の考え方について自分はどうか考えるだろう

○「私」の考え方についてどう思うか整理しよう。

故郷にも、故郷に住む人々にも、幼馴染にもがっかりすることは自由。

しかし、それをだれかのせいにしていないか。

がっかりするのも勝手だが、これから自分で自分の未来を切り開く努力がいるのではないか。

※生徒の人生観で書かせたい。

○ 「故郷」という作品の批評を試みよう。

社会に対して不満は結構。もっと自分を見つめるべきだろう。

遠回しに社会を批判するのではなく、ダイレクトに訴える作品にしてほしい。

※生徒の自由な人生観で批評させたい。

聞き上手になろう

三年 組 番 氏名(

)

学習目標

--

○「話題」について整理しよう。

話題	内容

○ 講評メモ

話し手	聞き手	講評

聞き上手になろう(記入例)

三年 組 番 氏名( )

学習目標

対談を通して聞きたいことを引き出そう

○「話題」について整理しよう。

話題	内容
友人	小学校の親友を忘れない。初めて本音を話せた。

○ 講評メモ

話し手	聞き手	講評
○○君	○○さん	・質問が核心を捉えていない。はっきりと人間関係を尋ねるべきだ。

三年 組 番 氏名(

)

学習目標

○ 推敲とはどんなことか整理しよう。

○ 推敲してみよう。

①

②

③

④

論理の展開を整える（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

より分かりやすくなるように文章を整えよう

○ 推敲とはどんなことか整理しよう。

- ・意見が伝わる文章構成になっているか。
- ・役割や内容を考えて段落を分けているか。
- ・事実と考えを整理しているか。
- ・意見を支える根拠が、的確な具体例となっているか。
- ・根拠との関係を明確にして、意見が欠けているか。

○ 推敲してみよう。

① ……幾つか含まれる。私は、…

③ 二つ目の力は……からが後段となる。

② 空港に便がある一文は不要。

④ 例：私たちの表現の力であり、気持ちの共有を図る上でも効果がある方言を、私は守り

たいと考える。

)

三年 組 番 氏名( )

学習目標

○ 言葉を探そう


○ 慣用句・ことわざ・故事成語について整理しよう。

慣用句	ことわざ	故事成語

○ 慣用句を使って短文を作ろう。

--

○ 誤用を確認しよう。

--



三年 組 番 氏名（

学習目標

使える言葉を増やそう

○ 言葉を探そう

足を洗う 息を殺す 顔が広い たががゆるむ 腹を割る

○ 慣用句・ことわざ・故事成語について整理しよう。

慣用句	<p>・二つ以上の言葉がむすびついてももとの意味とは別の意味を表す。 頭が下がる…体や心に関係する。 棚上げる…衣食住に関係する。      すぐめの涙…動植物に関係する。</p>
ことわざ	<p>・古くから世間で言い習わらされてきた、生活上の知恵や教訓。 猿も木から落ちる 転ばぬ先の杖</p>
故事成語	<p>・中国の古典に由来し、歴史的な事実や言い伝えを基に作られた言葉。 背水の陣 温故知新</p>

○ 慣用句を使って短文を作ろう。

いつも通学路で見守りをしてきている地域の人たちには頭が下がります。

○ 誤用を確認しよう。

情けは人のためならず…人のためにならないということではなく、自分のためという意味。

漢字の造語力

三年 組 番 氏名(

学習目標

--

○新しい日本語について整理しよう。

翻訳語	新しい語

- 練習問題に取り組もう
- 漢字に親しもう3 に取り組もう

漢字の造語力（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

新しく生まれた日本語について知ろう

○新しい日本語について整理しよう。

翻訳語	新しい語
漢字の造語力 西洋の書物から概念を日本に合うように造語 芸術 文化 科学 民族 時間 空間	社会や生活の変化に対応 新しい事柄や考え方、制度 漢字や熟語の組み合わせ 中食 公助 猛暑日 省略して示す言葉もある 国連、最高裁

□ 練習問題に取り組もう

□ 漢字に親しもう3 に取り組もう

)

## 練習問題解答

- ① ① 理性…物事を筋道～ ② 倫理…人として～ ③ 普遍…全ての～  
④ 契約…売買や～ ⑤ 利潤…企業などが～ ⑥ 猶予…物事を決行～  
重要・無形・文化・財  
② ① しょうもう…消費 ② れいぞく…従属 ③ こくめい…丹念 ④ ぶじよく…恥辱 ⑤ ぼんよう…平凡 ⑥ ほうちく…追放 ⑦ しょみん…大衆 ⑧ ひめん…免職 ⑨ ちんあつ…制圧  
③ ① 動 ② 未 ③ 減 ④ 開 ⑤ 没 ⑥ 事 ⑦ 放 ⑧ 息  
④ ① 膽本 こせきとうほん ② 剛健 しつじつごうけん ③ 一致 まんじょういつち ④ 折衷 わようせ  
つちゅう ⑤ 神経 ちゅうすうしんけい ⑥ 肅正 こうきしゆくせい  
⑤ ① 頭の中だけで考え出した、実際には役に立たない理論や考え  
君の主張は机上の空論に過ぎない。  
② 心の中で見積りを立てること  
胸算用では、今日だけで百万円の売上だ。  
③ 計画されていた事柄が何らかの理由により中止・取り止めとなり 世間の目に触れないまま棚上げになる状況  
新しい計画は予算の都合でお蔵入りになってしまった。  
④ 言葉では到底表現しきれないほどの、ものすごいありさま  
震災の後に現地に入ったが、街の様子は筆舌に尽くしがたいものだった。  
⑤ 多くの人の注意を引きつける。  
最近の問題は世界中の耳目を集めている。  
⑥ 歴史上、今まで一度も起こったことがないこと。  
このまえの災害は未曾有の惨事だった。  
⑦ 名誉を高める。  
県警から褒められるなんて面目を施したね。  
⑧ 非常に値打ちが高いこと  
君の毎日の行動は値千金だよ。  
⑨ 全国いたるところ  
君の評判は津津浦々届いているよ。  
⑩ はたしあい・あだうちで、助力をすること  
準備が大変だと聞いて助太刀に來たよ。

## 漢字に親しもう3 解答

- ① ① へいそくかん ② かつとう ③ しんらつ ④ ゆううつ ⑤ ほめる  
⑥ しいてき  
② ① 羞恥 ② 意匠 ③ 天賦 ④ 扶養 ⑤ 寡黙  
③ ① てきぎ ② がくせいりよう ③ しゅさい ④ せいじやく  
④ ① じよう ② さいえん ③ てんじよう ④ じようもんどぎ

三年 組 氏名 ( )

学習目標

□ 要旨をまとめよう

〈羽生さんの要旨〉

〈松原さんの要旨〉

□ 二つの文書を比較しよう

			観点
1	人工知能に対する立場		羽生さん
2	取り上げている事例		松原さん
3	前提としている事実		

筆者の考えに納得できたことや、できなかったことを書こう

三年 組 氏名 ( )

学習目標

二つの文章を比較し、「これからの時代に大切なこと」を考えよう

□ 要旨をまとめよう

〈羽生さんの要旨〉 (例) 人工知能にすべての判断を委ねるのではなく、人工知能から新たな思考やものの見方をつむいでいこうとする発想の方が建設的だ。

〈松原さんの要旨〉 (例) 人間はコンピュータに対し、優れたものを選ぶ評価の能力を伸ばすため、さまざまな経験を積んでバランスの取れた知識をもち、判断力を養うことが大切だ。

□ 二つの文書を比較しよう

	観点	羽生さん	松原さん
1	人工知能に対する立場 (賛否)	否定的ではないか ・違和感や不安はぬぐえない。 人間がどう向き合うかが課題	肯定的ではないか ・得意なことが異なる。
2	取り上げている事例	棋士の違和感 ・思考の過程がブラックボックスになっていること ・人工知能には恐怖心がなくこと	コンピュータに小説を書かせる研究からわかったこと ・コンピュータには創造性があること ・人間には選り出す評価の能力が優れていること
3	前提としている事実	棋士の違和感	コンピュータは一時間に十万作の小説を書くことが可能であること。

筆者の考えに納得できたことや、できなかったことを書こう

(例) ・羽生さんは、意見の根拠が主観のみであり、論を進める上で不安があった。しかし、棋士として気づいた違和感は事実であり、説得力がある。

・松原さんの研究の成果として述べられている創造性や評価について、研究方法が詳細には述べられていないため納得できなかった。



三年 組 氏名 ( )

学習目標

□ 意見文の「構想メモ」を作ろう

〈人間と人工知能は、こんな時代を迎えるだろう〉

〈自分の立場は、肯定派か否定派か〉 肯定派 ・ 否定派

〈根拠とする情報〉

□ 書いた意見文を交換して、感想を伝え合おう。(もらった付せんを貼ろう)



三年 組 氏名 ( )

学習目標

自分が考える「これからの時代に大切なこと」について

立場と根拠を明確にして書こう。

□ 意見文の「構想メモ」を作ろう

〈人間と人工知能は、こんな時代を迎えるだろう〉

(例) 人工知能が暴走するかもしれない。

暴走させない工夫をしたい。

〈自分の立場は、肯定派か否定派か〉

肯定派

否定派

〈根拠とする情報〉

・ 棋士の違和感 (恐怖心を持たずに判断すること)

□ 書いた意見文を交換して、感想を伝え合おう。(もらった付せんを貼ろう)

実行する上で決定権を人工知能に  
持たせてはいけないと怖くなった。  
怖くなるほど説得力があった。鈴木

思考過程を整理し示す機能を人工知  
能に持たせればよいのではないかと  
考えさせられる意見文だった。佐藤

羽生さんの意見とどこが違うのか。  
安田

他に根拠となる情報がなかったか。  
吉田

三年 組 氏名 ( )

学習目標

□ 批評文の構成を知ろう

( 序論 ) ◎ 考え・主張

← ・いちばんつたえたいことは ( )

( 本論 ) ◎ 一般論・現状

← ・○○という ( )

← ・○○というイメージがある ( )

← ◎ 見方を深めて分析する

← ・広告は○○を語りかけている 実は○○を伝えようとしている ( )

← ・新しい視点を加えてみると ( )

← ・○○ということであろう ( )

← ・広告の中の○○は ( 広告の

← ・○○を象徴する存在として ( )

← ・○○の立場と○○の立場の関係が ( )

← ・広告を見た人は ( )

← ・○○が示されている ( )

◎ 引用

← ・「○○」( 出典 ) と述べている ( )

( 結論 ) ◎ まとめ

・○○と思わせてくれる ( )

・この広告は○○なメッセージをもつ作品だ ( )

□ 説得力のある批評文に書くポイント

◎ 取り上げた題材を ( ) を考える

◎ 判断や評価の ( ) を明確にし、表現のしかたを工夫する。

◎ 資料を適切に引用し、 ( ) を明記する

◎ 意見や根拠をどのような ( ) で述べるかを考え、説得力のある論理の展開を工夫する。

□ 批評文の題材を探そう

多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く

W 43

三年 組 氏名 ( )

学習目標 批評文について知り、題材を選ぼう。

□ 批評文の構成を知ろう

(序論) ◎ 考え・主張

← ・いちばんつたえたいことは(主題)

(本論) ◎ 一般論・現状

← ・○○という(連想)

← ・○○というイメージがある(一般論)

← ◎ 見方を深めて分析する

← ・広告は○○を語りかけている 実は○○を伝えようとしている(メッセージ)

← ・新しい視点を加えてみると(視点の転換)

← ・○○ということであろう(言い換え)

← ・広告の中の○○は(広告の具体的な内容)

← ・○○を象徴する存在として(分析・意味づけ)

← ・○○の立場と○○の立場の関係が(分析・関係性)

← ・広告を見た人は(受け手の反応)

← ・○○が示されている(分析)

← ◎ 引用

← ・「○○」(出典)と述べている(考えの補強)

(結論) ◎ まとめ

・○○と思わせてくれる(全体の印象)

・この広告は○○なメッセージをもつ作品だ(評価・価値づけ)

□ 説得力のある批評文に書くポイント

◎ 取り上げた題材を( )を考える

◎ 判断や評価の( )を明確にし、表現のしかたを工夫する。

◎ 資料を適切に引用し、( )を明記する

◎ 意見や根拠をどのような( )で述べるかを考え、説得力のある論理の展開を工夫する。

□ 批評文の題材を探そう

多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く

W  
44

三年

組

氏名

(

)

学習目標

□ 「題材」の観点を決めて分析しよう

その他	制作者の意図	構 図	キャッチコピー	
				問 い
				自 分 の 考 え

□ ペアやグループで交換して考えを深めよう。交換した付せんを貼ろう。

多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く

学習目標

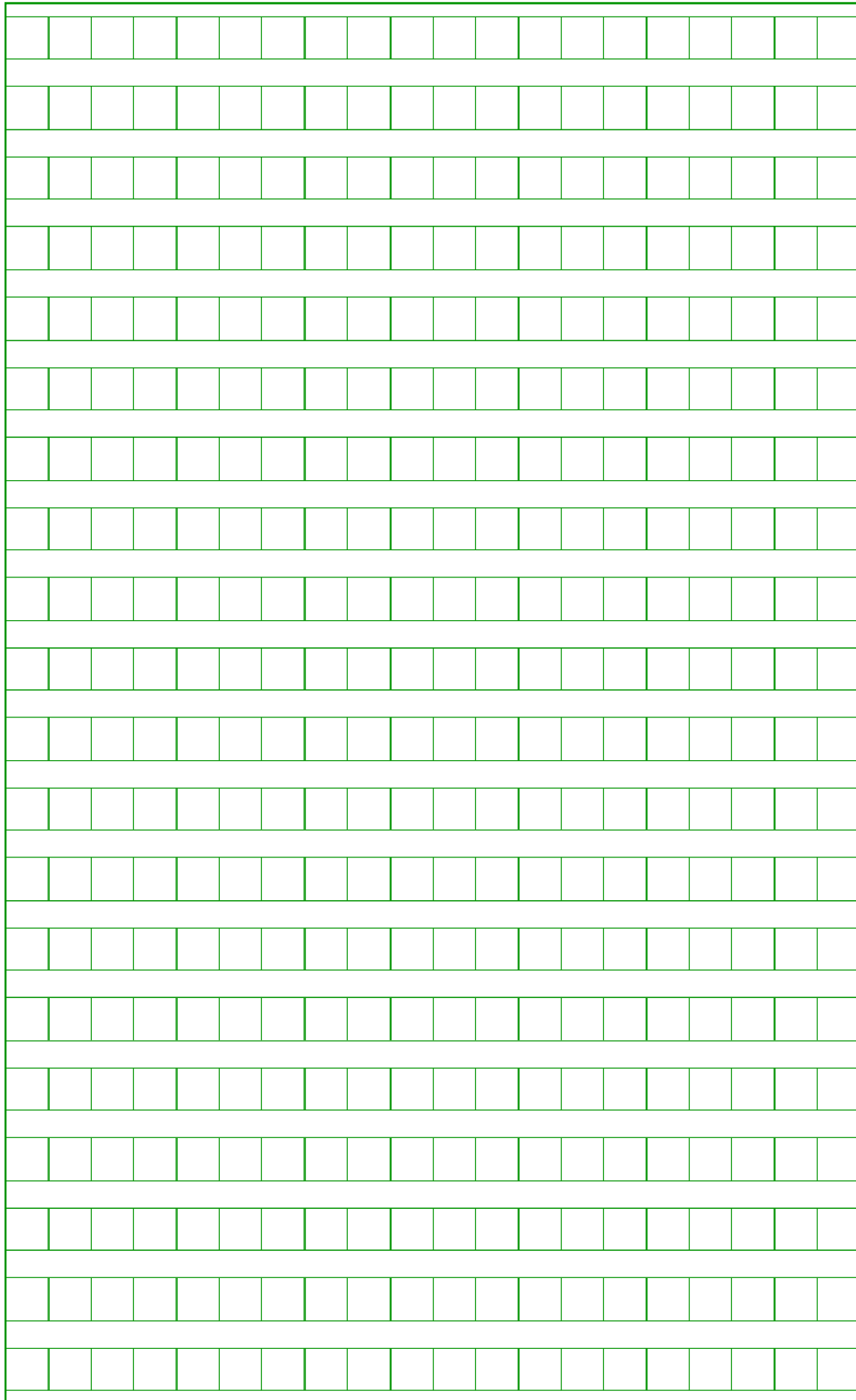
三年 組 氏名 ( )  
決めた「題材」について「観点」を決めて分析しよう。

□ 「題材」の観点を決めて分析しよう

その他	制作者の意図	構 図	キャッチコピー				
	<p>・何をいちばん伝えたかったのか。</p> <p>↓身近な社会に学びの場があること。 「学び」の形の豊かさ。</p>	<p>・商店街の一角にどんな意味があるのか。</p> <p>↓学ぶ場は身近にあること。</p>	<p>・「先生」とはどんな人のことだろう。</p> <p>・「発見!」とは何を発見したのか。</p> <p>↓学校の先生や習いごとの先生 ↓学ぶ場は学校だけではないこと。</p>				問 い
							自 分 の 考 え

□ペアやグループで交換して考えを深めよう。交換した付せんを貼ろう。

批	評	文																	
							三	年		名	前								



多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く

w  
45

三年

組

氏名 (

)

学習目標

□批評文の「構成メモ」を作ろう。

結 論	本 論	序 論	
			自分の意見
			根拠となる事実 引用する資料

□下書きを書こう。



多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く

W  
45

三年

組

氏名 ( )

学習目標

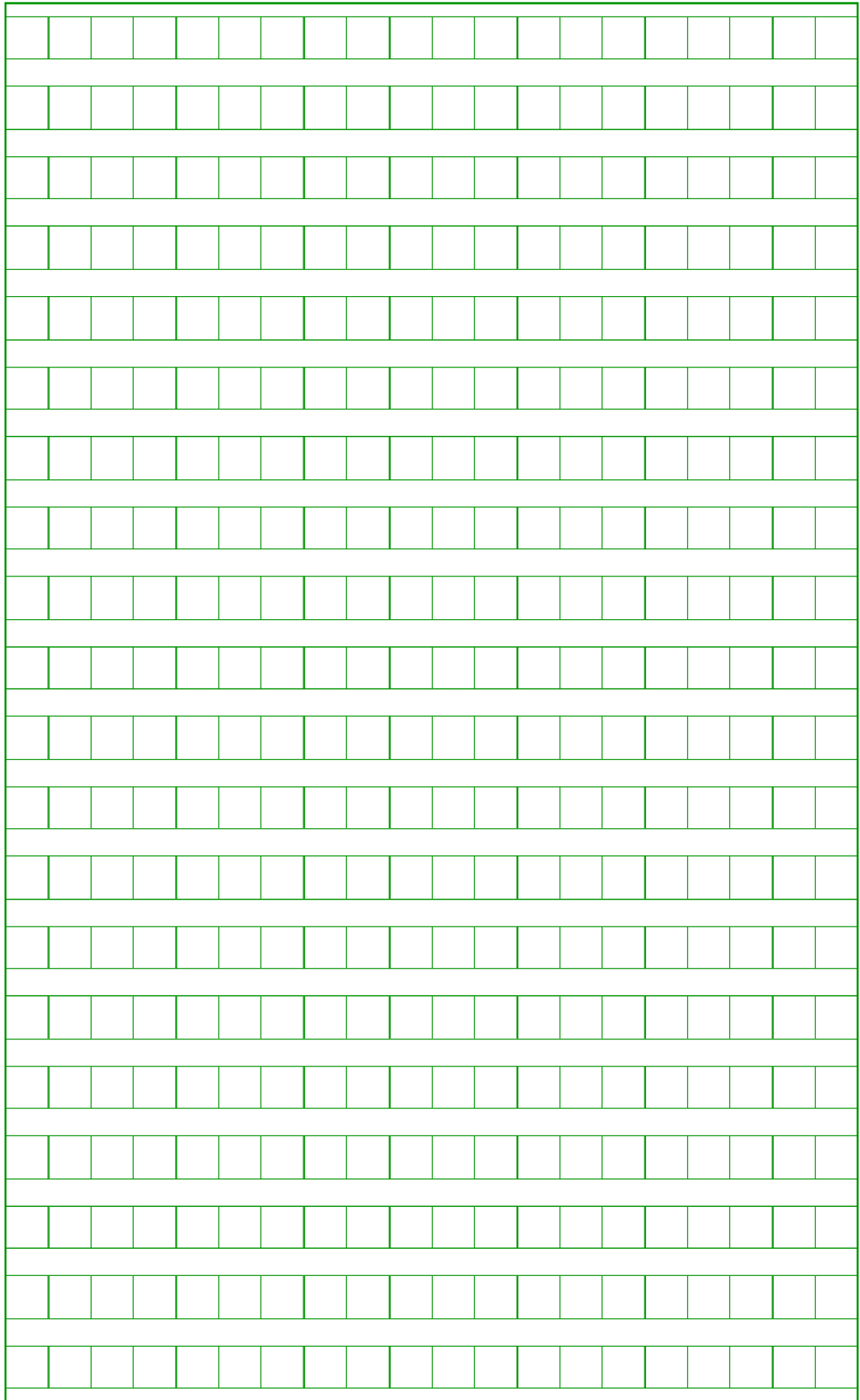
批評文の構成を考え、下書きしよう。

□批評文の「構成メモ」を作ろう。

序論	本論	結論
<p>自分の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この広告がいちばんつたえたいこと</li> <li>学びの豊かさ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学び ↓ 「学校」のイメージ</li> <li>教室、机、先生、黒板、ノート、鉛筆</li> <li>イメージを柔軟、広く</li> <li>新しい視点「学び」</li> <li>固定 ↓ 身近で手の届くところに</li> <li>「学び」の身近さ ↓ 商店街</li> <li>人物や猫</li> <li>「とたりには先生がいつぱい」を象徴</li> <li>「学ぶ」立場と「教える」立場</li> <li>自分も「先生」になりうる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びはいつでも どこでも</li> <li>前向きなメッセージ</li> </ul>
<p>根拠となる事実  引用する資料</p>	<p>舞台が商店街 人物や猫 思想家 内田氏 どういふかたちで、学びを発見するかにかかっている 〇〇社 書名「 」</p>	

□下書きを書こう。

批	評	文																	
								三	年				名	前					



多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く

W  
46

三年 組 氏名 ( )

学習目標

□助言し合おう。(助言が書かれた付せんを貼る)

◎分析はどうか

◎資料の引用はどうか

◎論理の展開はどうか

◎言葉の選び方はどうか

□清書しよう。

多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く

学習目標

三年 組 氏名 ( )  
推敲して、仕上げよう。

□助言し合おう。(助言が書かれた付せんを貼る)

◎分析はどうか

・どの部分を示して分析をしているのかをはっきりと。

・その分析でよいのか。

◎資料の引用はどうか

・出典が示されていない。  
書名を書いては？

◎論理の展開はどうか

・わかりにくい。

・わかるが、もう少しすっきり  
できないか。

◎言葉の選び方はどうか

・「                      」の意味が  
よくわからない。

□清書しよう。

三年 組 氏名 ( )

学習目標

[Empty box for learning objectives]

褐

(読み方) 音

訓

(部首)

(この漢字を使う熟語)

畔

(読み方) 音

訓

(部首)

(この漢字を使う熟語)

炎

(読み方) 音

訓

(部首)

(この漢字を使う熟語)

脊

(読み方) 音

訓

(部首)

(この漢字を使う熟語)

椎

(読み方) 音

訓

(部首)

(この漢字を使う熟語)

亜

(読み方) 音

訓

(部首)

(この漢字を使う熟語)

勾

(読み方) 音

訓

(部首)

(この漢字を使う熟語)

旋

(読み方) 音

訓

(部首)

(この漢字を使う熟語)

麓

(読み方) 音

訓

(部首)

(この漢字を使う熟語)

杯

(読み方) 音

訓

(部首)

(この漢字を使う熟語)

詠

(読み方) 音

訓

(部首)

(この漢字を使う熟語)

愁

(読み方) 音

訓

(部首)

(この漢字を使う熟語)

悼

(読み方) 音

訓

(部首)

(この漢字を使う熟語)

惰

(読み方) 音

訓

(部首)

(この漢字を使う熟語)

慄

(読み方) 音

訓

(部首)

(この漢字を使う熟語)

◎次の――線部の言葉を読もう。

- ①褐色の台地が広がる。 ( )
- ②湖畔で絵を描く。 ( )
- ③ろうそくの炎が風に揺れる。 ( )
- ④脊椎動物の特徴を学ぶ。 ( )
- ⑤亜熱帯の植物に興味をもつ。 ( )
- ⑥この坂道は勾配が急だ。 ( )

◎次の熟語を読み、構成が同じものを線で結ぼう。

- |      |     |    |    |     |
|------|-----|----|----|-----|
| ① 旋回 | 〔 〕 | ・ア | 緩急 | 〔 〕 |
| ② 山麓 | 〔 〕 | ・イ | 造幣 | 〔 〕 |
| ③ 吉凶 | 〔 〕 | ・ウ | 苦杯 | 〔 〕 |
| ④ 募金 | 〔 〕 | ・エ | 詠唱 | 〔 〕 |

◎それぞれの熟語を読もう。

- ① 郷愁 〔 〕
- ② 哀悼 〔 〕
- ③ 怠惰 〔 〕
- ④ 戦慄 〔 〕

◎読みの違いに注意して熟語を読もう。

- |        |     |   |     |     |
|--------|-----|---|-----|-----|
| ① ア守備  | 〔 〕 | イ | 子守り | 〔 〕 |
| ② ア声援  | 〔 〕 | イ | 声色  | 〔 〕 |
| ③ ア寢室  | 〔 〕 | イ | 岩室  | 〔 〕 |
| ④ ア耳鼻科 | 〔 〕 | イ | 鼻歌  | 〔 〕 |
| ⑤ ア迷路  | 〔 〕 | イ | 迷う  | 〔 〕 |

三年 組 氏名 ( ) ( )

学習目標

新出漢字を確かめ、練習問題に取り組もう。

褐 (読み方) 音 カツ 訓 訓 (部首) ころもへん

畔 (読み方) 音 ハン 訓 訓 あぜくろ ほとり (部首) た

炎 (読み方) 音 エン 訓 訓 ほのお (部首) ひ

脊 (読み方) 音 セキ 訓 訓 せ せい (部首) にく

椎 (読み方) 音 ツイスイ 訓 訓 つち う(つ) (部首) きへん

亜 (読み方) 音 ア 訓 訓 つ(ぐ) (部首) に

勾 (読み方) 音 コウ 訓 訓 とら(える)ま(がる) (部首) つつみがまえ

旋 (読み方) 音 セン 訓 訓 めぐ(る) (部首) ほうほうへん

麓 (読み方) 音 ロク 訓 訓 ふもと (部首) しか

杯 (読み方) 音 ハイ 訓 訓 さかずき (部首) ききへん

詠 (読み方) 音 エイ 訓 訓 よ(む) (部首) げん こんべん

愁 (読み方) 音 シユウ 訓 訓 うれ(える)う(れい) (部首) こころ したごころ

悼 (読み方) 音 トウ 訓 訓 いた(む) (部首) こころ したごころ

惰 (読み方) 音 ダ 訓 訓 おこた(る) (部首) こころ したごころ

慄 (読み方) 音 リツ 訓 訓 おそ(れる)おのの(く) (部首) こころ したごころ

(この漢字を使う熟語) 慄然 戦慄

(この漢字を使う熟語) 怠惰 勤惰 惰弱 惰性 惰眠

(この漢字を使う熟語) 哀悼 追悼 悼辞

(この漢字を使う熟語) 哀愁 幽愁 春愁 旅愁 郷愁 愁傷 愁訴

(この漢字を使う熟語) 吟詠 朗詠 詠歌 詠唱 詠草 遺詠 花鳥諷詠

(この漢字を使う熟語) 一杯 玉杯 返杯 杯盤 苦杯 乾杯 満杯

(この漢字を使う熟語) 山麓 大麓 岳麓 丘麓

(この漢字を使う熟語) 周旋 旋律 旋毛 旋網 旋回 旋盤 旋風 凱旋

(この漢字を使う熟語) 椎茸 胸椎 頸椎 脊椎 尾椎 軸椎 脊椎炎

(この漢字を使う熟語) 亜鉛 亜種 亜細亜 亜米利加 亜流

(この漢字を使う熟語) 勾配 勾欄 勾留 勾当 勾玉

(この漢字を使う熟語) 旋天 旋地 旋火 旋風 旋光

(この漢字を使う熟語) 炎上 炎天下 炎熱地獄 炎検出器

(この漢字を使う熟語) 脊髄 脊索動物 脊椎 脊梁 脊柱 脳脊髄炎

(この漢字を使う熟語) 椎茸 胸椎 頸椎 脊椎 尾椎 軸椎 脊椎炎

(この漢字を使う熟語) 亜鉛 亜種 亜細亜 亜米利加 亜流

(この漢字を使う熟語) 勾配 勾欄 勾留 勾当 勾玉

(この漢字を使う熟語) 旋天 旋地 旋火 旋風 旋光

(この漢字を使う熟語) 炎上 炎天下 炎熱地獄 炎検出器

(この漢字を使う熟語) 脊髄 脊索動物 脊椎 脊梁 脊柱 脳脊髄炎

(この漢字を使う熟語) 椎茸 胸椎 頸椎 脊椎 尾椎 軸椎 脊椎炎



新しく習う漢字

◎次の——線部の言葉を読もう。

①褐色の台地が広がる。 (かつしよく)

②湖畔で絵を描く。 (こはん)

③ろうそくの炎が風に揺れる。 (ほのお)

④脊椎動物の特徴を学ぶ。 (せきつい)

⑤亜熱帯の植物に興味をもつ。 (あねつたい)

⑥この坂道は勾配が急だ。 (こうばい)

◎次の熟語を読み、構成が同じものを線で結ぼう。

① 旋回 「せんかい」 「ア 緩急 「かんきゆう」 「」

② 山麓 「さんろく」 「イ 造幣 「ぞうへい」 「」

③ 吉凶 「きつきよう」 「ウ 苦杯 「くはい」 「」

④ 募金 「ぼきん」 「エ 詠唱 「えいしよう」 「」

◎それぞれの熟語を読もう。

① 郷愁 「きようしゆう」 「」

② 哀悼 「あいとう」 「」

③ 怠惰 「たいだ」 「」

④ 戦慄 「せんりつ」 「」

◎読みの違いに注意して熟語を読もう。

② ア守備 「しゅび」 「イ子守り 「こもり」 「」

③ ア声援 「せいえん」 「イ声色 「こわいろ」 「」

④ ア寝室 「しんしつ」 「イ岩室 「いわむろ」 「」

⑤ ア耳鼻科 「じびか」 「イ鼻歌 「はなうた」 「」

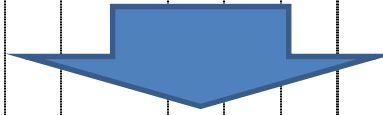
⑥ ア迷路 「めいろ」 「イ迷う 「まよう」 「」

学習目標

□話し合いの論点を整理しよう

□共通点と相違点を整理しよう。

杉野	村田	松本	清水	小林	
					伝えたいこと



相 違 点	共 通 点

□○○さんになったつもりで、話し合いの進め方について□の中の言葉を考えよう。

三年 組 氏名 ( ) ( )

学習目標

話し合いの進め方について意見を述べよう。

□話し合いの論点を整理しよう

□共通点と相違点を整理しよう。

杉野	村田	松本	清水	小林	
テーマの伝え方は「制作委員会通信」で。	テーマは「二十歳の私へ」に。	テーマは決めるが話題を限定しない。	テーマは「学校行事」に。	テーマは「自由」に。	伝えたいこと



相 違 点	共 通 点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマにしたい内容</li> <li>・テーマを決めるかどうか</li> <li>・伝え方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ</li> </ul>

□○○さんになったつもりで、話し合いの進め方について□の中の言葉を考えよう。

この委員会の話し合いを進める上で次のようにしてはどうでしょうか。まず、テーマを設定するかどうかを決めます。その上で必要となれば、テーマの内容を決めます。その話し合いの過程を通信として伝えるのです。いかがでしょうか。

学習目標

□教科書 136 ページから 139 ページを読んで、合意形成の手法を学ぼう。

集める・整理する

1 ( ) を見つけ、 ( ) を決める。

2 グループで、具体的な ( ) を考える。

組み立てる

① ( ) ( ) でアイデアを出し合う。

← (アイデアを出すために注意すること)

◎意見を ( ) ( ) しない。

◎ ( ) ( ) を求めない。

← ②グループごとに ( ) ( ) を絞り込む。

・一つに決め、 ( ) ( ) や ( ) ( ) を考え、  
説得力を高めておく。

伝え合う

← 3 ( ) ( ) 会議を開く

① ( ) ( ) と ( ) ( ) を決める。

← ②グループごとに提案を発表する。

③提案を ( ) ( ) ・ ( ) ( ) し、観点を決めて検討する。

← ④ ( ) ( ) を生かして合意形成に導く。

互いの意見の ( ) ( ) を組み合わせる

← 4 学習を振り返る。

振り返る

□身近にある課題を出し合い、みんなで話し合う課題を決めよう。

〈決まった課題〉

学習目標

合意形成の方法を知り、課題を見つけ、議題を決めよう。

□教科書 136 ページから 139 ページを読んで、合意形成の手法を学ぼう。

集める・整理する

1 ( 課題 ) を見つけ、( 議題 ) を決める。

2 グループで、具体的な ( 具体的な提案 ) を考える。

① ( ブレインストーミング ) でアイデアを出し合う。

← ( アイデアを出すために注意すること )

◎意見を ( 否定 ) ししない。

◎ ( 根拠 ) を求めない。

← ②グループごとに ( 提案 ) を絞り込む。

・一つに決め、( 根拠 ) や ( 意義 ) を考え、  
説得力を高めておく。

伝え合う

← 3 ( 全体 ) 会議を開く

① ( 司会 ) と ( 書記 ) を決める。

← ②グループごとに提案を発表する。

③提案を ( 分類 ) ・ ( 整理 ) し、観点を決めて検討する。

← ④ ( 互いの意見 ) を生かして合意形成に導く。

互いの意見の ( よいところ ) を組み合わせる

← 4 学習を振り返る。

振り返る

□身近にある課題を出し合い、みんなで話し合う課題を決めよう。

掃除の役割分担を決める 観光客の減少 図書館利用者の減少

卒業文集の企画を決める コロナ禍における祖父母との交流

〈決まった課題〉 観光客を増やすために町に提案したいこと

「合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く」 W 50

三年 組 氏名 ( )

学習目標

〈課題〉

□ 自分の考えや、グループの仲間の考えを メモしよう。

□ グループとして提案したいものを一つに決めよう。

〈グループで決めた提案〉

◎

□ 提案の根拠や意義を話し合い、自分の考えや仲間の考えをメモしよう。

〈グループとして選んだ提案の意義や根拠〉

学習目標

具体的な提案をグループで考えよう。

〈課題〉観光客を増やすために町に提案したいこと

□ 自分の考えや、グループの仲間の考えを メモしよう。

外国から来てくれる人を  
増やせばよい。

- ・ 情報を発信する
- ・ 外国語の表示  
英語、中国語、韓国語

田中さん

すでにある！  
見たことがある！

観光客の不満を  
リサーチしては？

- ・ 困っていること
- ・ 不満に思っていること

町の魅力が伝わる観光マップを  
つくればよい。

- ・ いつ
- ・ どこへ
- ・ 準備するもの

鈴木さん

すでにある！

町の魅力は何だろうか。

- ・ 自分たちが知らない
- ・ どこがいいの？
- ・ わからない

山田さん

体験レポート！  
SNSで発信？

□ グループとして提案したいものを一つに決めよう。



〈グループで決めた提案〉

◎自分たちが町の魅力を実際に味わって伝えられるようにしよう。

□提案の根拠や意義を話し合い、自分の考えや仲間の考えをメモしよう。

○日本から人を招いても、自分が知らないから困ることが多い。

・おみやげ

・連れて行くところ

・そこで伝えられるとよい歴史や伝説

・おいしいもの

○体験を通して、語れるようになりたい。

○この町の担い手として、「よさ」を語れる自分でありたい。

○SNSで発信すれば、体験していることを世界中に見てもらえる。

〈グループとして選んだ提案の意義や根拠〉

「合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く」 W 51

三年 組 氏名 ( )

学習目標

〈課題〉

□グループごとの発表を聞いて、観点ごとに整理してメモしよう。

実現性高

目的への効果大

目的への効果小

実現性低





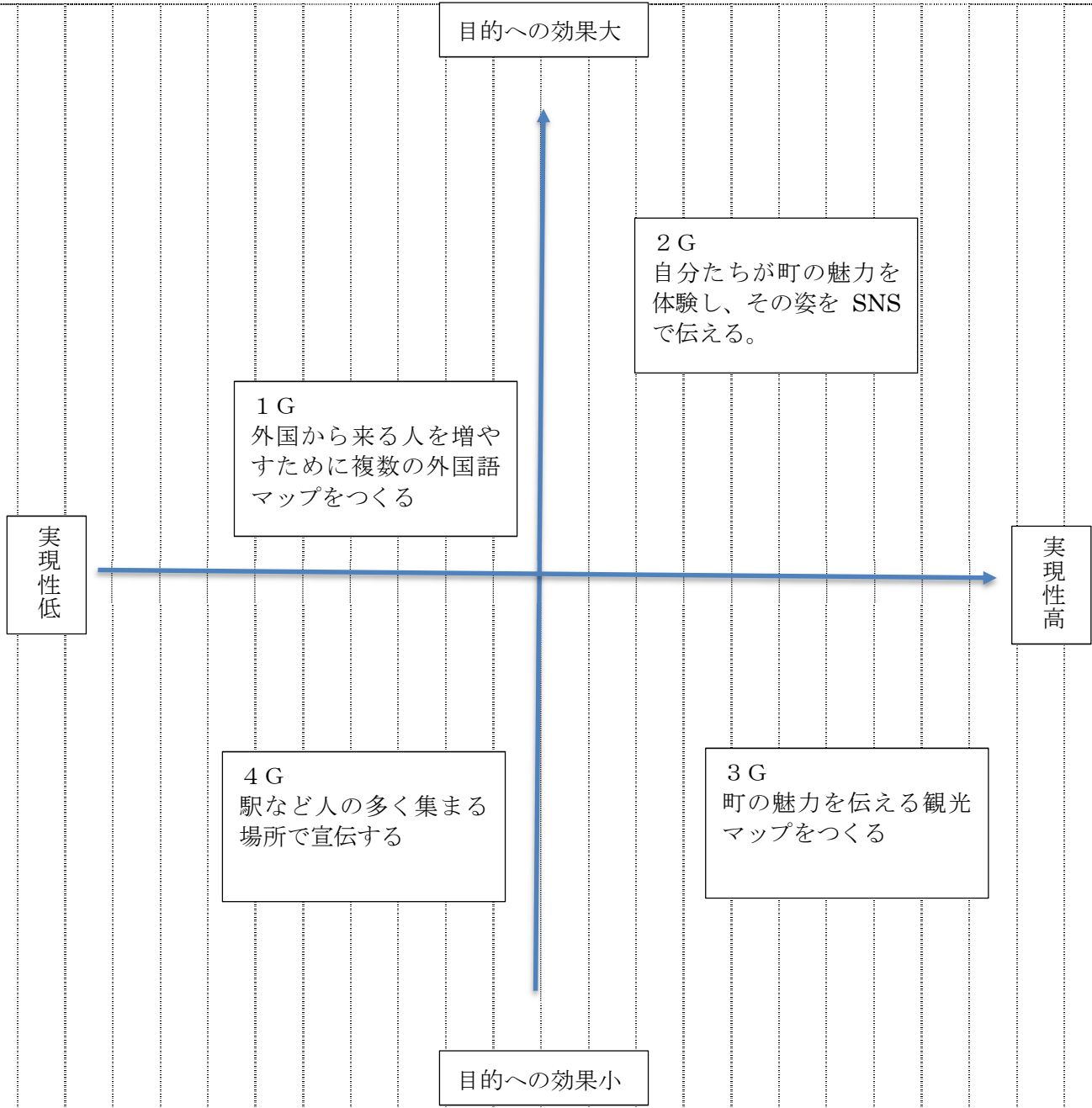
「合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く」 w 51

三年 組 氏名 ( )

学習目標 互いの意見のよいところを生かして合意形成しよう。

〈課題〉観光客を増やすために町に提案したいこと

□グループごとの発表を聞いて、観点ごとに整理してメモしよう。



□ この学習を通して、自他の成長を振り返ろう。仲間と交換した付せんを貼ろう。

共通点を見つけて、提案を整理していた。話し合いをするうえで頼りになった。

田中

同じグループの仲間として相手の提案のよいところを大切にしながら、結論に向けて話し合うことができたと思う。 吉田

同じグループの仲間として相手の提案のよいところを大切にしながら、結論に向けて話し合うことができたと思う。 吉田

三年 組 氏名 ( )

学習目標

□ 言葉の響きやリズムを味わいながら、朗読してみよう。

・ 読み方や、意味のわからないところに線を引いて、想像したことを交流しよう。

まだ上げ初めし前髪の

林檎のもとに見えしとき

前にさしたる花櫛の

花ある君と思ひけり

やさしく白き手をのべて

林檎をわれにあたへしは

薄紅の秋の実に

人こひ初めしはじめなり

わがこころなきためいきの

その髪の毛にかかるとき

たのしき恋の盃を

君が情に酌みしかな

林檎島の樹の下に

おのづからなる細道は

誰が踏みそめしかたみぞと

問ひたまふこそこひしけれ

□ 映像資料から、気づいたことを交流し、朗読に生かそう。



▲映像資料

NHK for School

「10min. BOX」

「初恋（島崎藤村）」へ

学習目標

言葉の響きやリズムを味わいながら朗読し、感じたことを伝え合おう

□ 言葉の響きやリズムを味わいながら、朗読してみよう。

・読み方や、意味のわからないところに線を引いて、想像したことを交流しよう。

まだ上げ初めし前髪の

林檎のもとに見えしとき

前にさしたる花櫛の

花ある君と思ひけり

やさしく白き手をのべて

林檎をわれにあたへしは

薄紅の秋の実に

人こひ初めしはじめなり

わがころなきためいきの

その髪の毛にかかるとき

たのしき恋の盃を

君が情に酌みしかな

林檎島の樹の下に

おのづからなる細道は

誰が踏みそめしかたみぞと

問ひたまふこそこひしけれ

□ 映像資料から、気づいたことを交流し、朗読に生かそう。



▲映像資料

NHK for School

「10min. BOX」

「初恋（島崎藤村）」へ

三年 組 氏名 ( )

学習目標

□三大和歌集を整理しよう

新古今和歌集	古今和歌集	万葉集	
・約 首 ・卷	・約 首 ・卷	・約 首 ・卷	歌数
勅撰和歌集			読んだ人
			主な内容
源 通具 寂蓮法師 藤原有家 藤原定家 藤原家隆 藤原雅経	紀貫之 凡河内躬恒 紀友則 壬生忠岑	大伴家持	まとめられた人や時代
時代の初期	時代の初期	時代の末頃	

□古今和歌集仮名序の 冒頭を書き出し、朗読を工夫(区切り方・間の空け方)しよう

Blank writing area for student activities.



三年 組 氏名 ( )

学習目標

作者の思いを想像して、朗読を工夫しよう。

□三大和歌集を整理しよう

新古今和歌集	古今和歌集	万葉集	歌数
・ 20 巻 ・ 約 1980 首	・ 20 巻 ・ 約 1100 首	・ 20 巻 ・ 約 4500 首	歌数
勅撰和歌集	勅撰和歌集 (天皇や上皇法皇の命で作られた和歌集)	天皇や貴族 兵士や農民	読んだ人
自然美や繊細な感情を象徴的に	春・夏・秋・冬恋などに分類 繊細で優美	素朴な感動	主な内容
藤原有家 藤原家隆 源 通具	紀貫之 紀友則 壬生忠岑	大伴家持	まとめられた人や時代
鎌倉時代の初期	平安時代の初期	奈良時代の末頃	

□古今和歌集仮名序の 冒頭を書き出し、朗読を工夫(区切り方・間の空け方)しよう

やまとうたは 人の心を種として、

よろづの言の葉とぞなれりける。

世の中にある人、ことわざ繁きものなれば、

心に思ふことを、

見るもの、聞くものにつけて、言ひだせるなり。

花に鳴く鶯、水にすむ蛙の声を聞けば、

生きとし生けるもの、

いづれか歌をよまざりける。

力をも入れずして、天土を動かし、

目に見えぬ鬼神をも、あはれと思はせ、

男女のなかをも和らげ、

猛き武士の心をも慰むるは歌なり。

三年 組 氏名 ( )

学習目標

[Empty box for student name]

□全ての和歌を声に出して読んで、作者の思いや感じたことを話し合おう。

□教科書 p153を読んで、和歌の表現方法をまとめよう。

○枕詞 ( ことば )

「 ( ↓衣・袖・雲 ) 「 ( ↓光・日 ) 」 ( ↓母 )

○序詞 ( ことば )

○掛詞 ( ことば )

「 一菊 」 「 一松 」 「 一長雨 」

□心に響いた和歌を一首選んで、鑑賞文を書こう。

心に響いた和歌

〈鑑賞文〉

[Vertical lines for writing the appreciation text]

三年 組 氏名 ( ) ( )

学習目標

心に響いた和歌を一首選んで鑑賞文を書こう。

□全ての和歌を声に出して読んで、作者の思いや感じたことを話し合おう。

□教科書p153を読んで、和歌の表現方法をまとめよう。

○枕詞(まぐらことば) : 多くの場合、五音。五七調のリズムを整える 特定の語句を修飾する

「(しろたへの) ↓衣・袖・雲」 「(ひさかたの) ↓光・日」 「(たらちねの) ↓母」

○序詞(じよことば) : ある語句を導く働きは枕詞に似ているが、後に続く語句は決まっていない

○掛詞(かけことば) : 一つの語に二つ以上の意味を重ねる技法

「聞く―菊」 「待つ―松」 「眺め―長雨」

□心に響いた和歌を一首選んで、鑑賞文を書こう。

心に響いた和歌

〈鑑賞文〉

Vertical lines for writing the appreciation text.

三年 組 氏名 ( )

学習目標

□芭蕉の「旅」に対する思いがわかる部分に線を引こう  
月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり。

舟の上に生涯を浮かべ、馬の口をとらへて老いを迎ふる者は、日々旅にしてすみかどす。  
古人も多く旅に死せるあり。

予もいづれの年よりか、片雲の風にさそはれて、漂泊の思ひやまず、  
海浜にさすらへて、去年の秋、江上の破屋に蜘蛛の古巢をはらひて、

やや年も暮れ、春立てる霞の空に。白河の関越えむと、そぞろ神の物につきて心くるわせ、  
道祖神の招きにあひて、取るもの手につかず、股引の破れをつづり、

笠の緒付けかへて、三里の灸すゆるより、松島の月まづ心にかかりて、  
住めるかたは人に譲りて杉風が別墅に移るに、

草の戸も住み替はる代ぞ雛の家  
面八句を庵の柱に懸け置く。

□高館や光堂での芭蕉の思いを想像しよう

三代の栄耀一睡のうちにして、大門の跡は一里こなたにあり。

秀衡が跡は田野になりて、金鷄山のみ形を残す。

まづ、高館に登れば、北上川南部より流るる大河なり。

衣川は、和泉が城をめぐりて、高館の下にて大河に落ち入る。

泰衡らが旧跡は、衣が関を隔てて南部口をさし固め、夷を防ぐと見えたり。

さても義臣すぐつてこの城に籠もり、功名一時の草むらとなる。

「国破れて山河あり、城春にして草青みたり」と笠打ち敷きて、時のうつるまで涙を落としはべりぬ。

夏草や兵どもが夢の跡

卯の花に兼房見ゆる白毛かな

かねて耳驚かしたる二堂開帳す。

経堂は三将の像を残し、光堂は三代の棺を納め、三尊の仏を安置す。

七宝散り失せて、玉の扉風に敗れ、金の柱霜雪に朽ちて、既に頽廃空虚の草むらとなるべきを

四面新たに囲みて、薨を覆ひて風雨を凌ぎ、しばらく千歳の記念とはなれり。

五月雨の降り残してや光堂

学習目標

全文を朗読し、芭蕉のものの見方や感じ方を読み取ろう。

□芭蕉の「旅」に対する思いがわかる部分に線を引こう

月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり。

舟の上に生涯を浮かべ、馬の口をとらへて老いを迎ふる者は、日々旅にしてすみかどす。

古人も多く旅に死せるあり。

予もいづれの年よりか、片雲の風にさそはれて、漂泊の思ひやまず、

海浜にさすらへて、去年の秋、江上の破屋に蜘蛛の古巢をはらひて、

やや年も暮れ、春立てる霞の空に。白河の関越えむと、そぞろ神の物につきて心くるわせ、

道祖神の招きにあひて、取るもの手につかず、股引の破れをつづり、

笠の緒付けかへて、三里の灸すゆるより、松島の月まづ心にかかりて、

住めるかたは人に譲りて杉風が別墅に移るに、

草の戸も住み替はる代ぞ雛の家

面八句を庵の柱に懸け置く。

□高館や光堂での芭蕉の思いを想像しよう

三代の栄耀一睡のうちにして、大門の跡は一里こなたにあり。

秀衡が跡は田野になりて、金鷄山のみ形を残す。

まづ、高館に登れば、北上川南部より流るる大河なり。

衣川は、和泉が城をめぐりて、**高館**の下にて大河に落ち入る。

泰衡らが旧跡は、衣が関を隔てて南部口をさし固め、夷を防ぐと見えたり。

さても義臣すぐつてこの城に籠もり、功名一時の草むらとなる。

「**国破れて山河あり**、**城春にして草青みたり**」と笠打ち敷きて、時のうつるまで涙を落としはべりぬ。

夏草や兵どもが夢の跡

卯の花に兼房見ゆる白毛かな

かねて耳驚かしたる二堂開帳す。

経堂は三将の像を残し、**光堂**は三代の棺を納め、三尊の仏を安置す。

七宝散り失せて、玉の扉風に敗れ、金の柱霜雪に朽ちて、既に**頽廢**空虚の草むらとなるべきを

四面新たに囲みて、薨を覆ひて風雨を凌ぎ、しばらく千歳の記念とはなれり。

五月雨の降り残してや光堂

三年 組 氏名 ( )

学習目標

□情景を想像しながら声に出してくり返し読んで、心に響く一句を選ぼう。

( ) 草の戸も住み替はる代ぞ雛の家

( ) 夏草や兵どもが夢の跡

( ) 卯の花に兼房見ゆる白毛かな 曾良

( ) 五月雨の降り残してや光堂

( ) 閑かさや岩にしみいる蟬の声

( ) 野を横に馬牽きむけよほととぎす

( ) 五月雨をあつめて早し最上川

( ) 荒海や佐渡によこたふ天河

( ) むざむやな甲の下のきりぎりす

( ) 蛤のふたみにわかれ行く秋ぞ

〈自分が選んだ心に響く一句〉

〈芭蕉が読んだ地〉

〈現代語訳〉

〈選んだ理由〉

三年 組 氏名 ( )

学習目標

心に響く俳句を選んで、その理由を発表し合おう。

□情景を想像しながら声に出してくり返し読んで、心に響く一句を選ぼう。

( ) 草の戸も住み替はる代ぞ雛の家

( ) 夏草や兵どもが夢の跡

( ) 卯の花に兼房見ゆる白毛かな 曾良

( ) 五月雨の降り残してや光堂

( ) 閑かさや岩にしみいる蟬の声

( ) 野を横に馬牽きむけよほととぎす

( ) 五月雨をあつめて早し最上川

( ) 荒海や佐渡によこたふ天河

( ) むぎむやな甲の下のきりぎりす

( ) 蛤のふたみにわかれ行く秋ぞ



〈自分が選んだ心に響く一句〉

〈芭蕉が読んだ地〉

〈現代語訳〉

〈選んだ理由〉

三年 組 氏名 ( )

学習目標

□ 「古典名句・名言集」などを声に出してくり返し読んで、気に入った作品を見つけよう。

□ 誰かに贈りたい「古典の言葉」を書き出そう。(相手・届けたい思い)

↓こんな相手に..

↓こんな思いを..

↓こんな相手に..

↓こんな思いを..

↓こんな相手に..

↓こんな思いを..

↓こんな相手に..

↓こんな思いを..

三年 組 氏名 ( )

学習目標

誰かに贈りたい「古典の言葉」を見つけよう。

□ 「古典名句・名言集」などを声に出してくり返し読んで、気に入った作品を見つけよう。

□ 誰かに贈りたい「古典の言葉」を書き出そう。(相手・届けたい思い)

人事を尽くして天命を待つ

↓こんな相手に…これから受験を迎えるAさん

↓こんな思いを…やるだけのことはやったのだからという思い

大器は晩成す

↓こんな相手に…自信のない担任の先生に

↓こんな思いを…これだからだからがんばってという思い

ぜひ初心忘るべからず

↓こんな相手に…自分とともにこの地に来た友だち

↓こんな思いを…この地に来た時に誓い合った思いを忘れずに努力しようという思い

↓こんな相手に…

↓こんな思いを…

三年 組 氏名 ( )

学習目標

□伝えたい相手は、

( )さん

□相手の状況は、

□引用する古典の言葉は、

□伝えたい思いを一言で

□相手にこんな気持ちになってほしい！



三年 組 氏名 ( )

学習目標

相手を決め、「古典の言葉」を引用したメッセージを贈ろう。

□伝えたい相手は、

( )さん

もうすぐ帰国するAさん

□相手の状況は、

帰国することに不安感を持っている

□引用する古典の言葉は、

初心忘るべからず

□伝えたい思いを一言で

この地に一緒に来た時の思いを忘れずに努力しよう

□相手にこんな気持ちになってほしい！

帰国にあたって再び不安でいっぱいだが、

この地に来た時も不安でいっぱいだった。

その時の思いを思い出してがんばるぞ。



学習目標

○全文を読もう

ア 共感・納得できる

イ 反対・納得できない

ウ 疑問・わからない

○筆者の考え方を話し合おう

①「無条件の肯定を求める」とはどういうことか。

なぜ、ちょっと危ういのか

②「自立」と「独立」の違いは何か

③「依存」と「支え合い」の違いは何か



三年 組 氏名 ( )

学習目標

筆者の考え方について話し合おう。

○全文を読もう

ア 共感・納得できる

イ 反対・納得できない

ウ 疑問・わからない

○筆者の考え方を話し合おう

①「無条件の肯定を求める」とはどういうことか。

↓何にでもなれる社会は、「何をしてきたか」「何ができるか」で人を測る社会

自分が代わりのきかない存在であることを自分で証明しなければならぬ

その苦しい思いから、何ができなくてもこのままの自分を肯定してほしいと痛いほど願う

なぜ、ちょっと危ういのか

↓自分の存在の意味や理由を常に他人に与えてほしいと願う受け身の存在になってしまうから

他社に関心を持ってほしいという依存症に落ちってしまうから

②「自立」と「独立」の違いは何か

③「依存」と「支え合い」の違いは何か

誰かの代わりに

W  
60

学習目標

三年 組 氏名 ( )

□筆者の考え方を話し合おう

③ 「『誰かの代わりに』という意識」とはどういうことか。

なぜそれが大切なのか。

□筆者の考えに対する自分の考え方を書こう

誰かの代わりに

W  
60

三年 組 氏名 ( )

学習目標

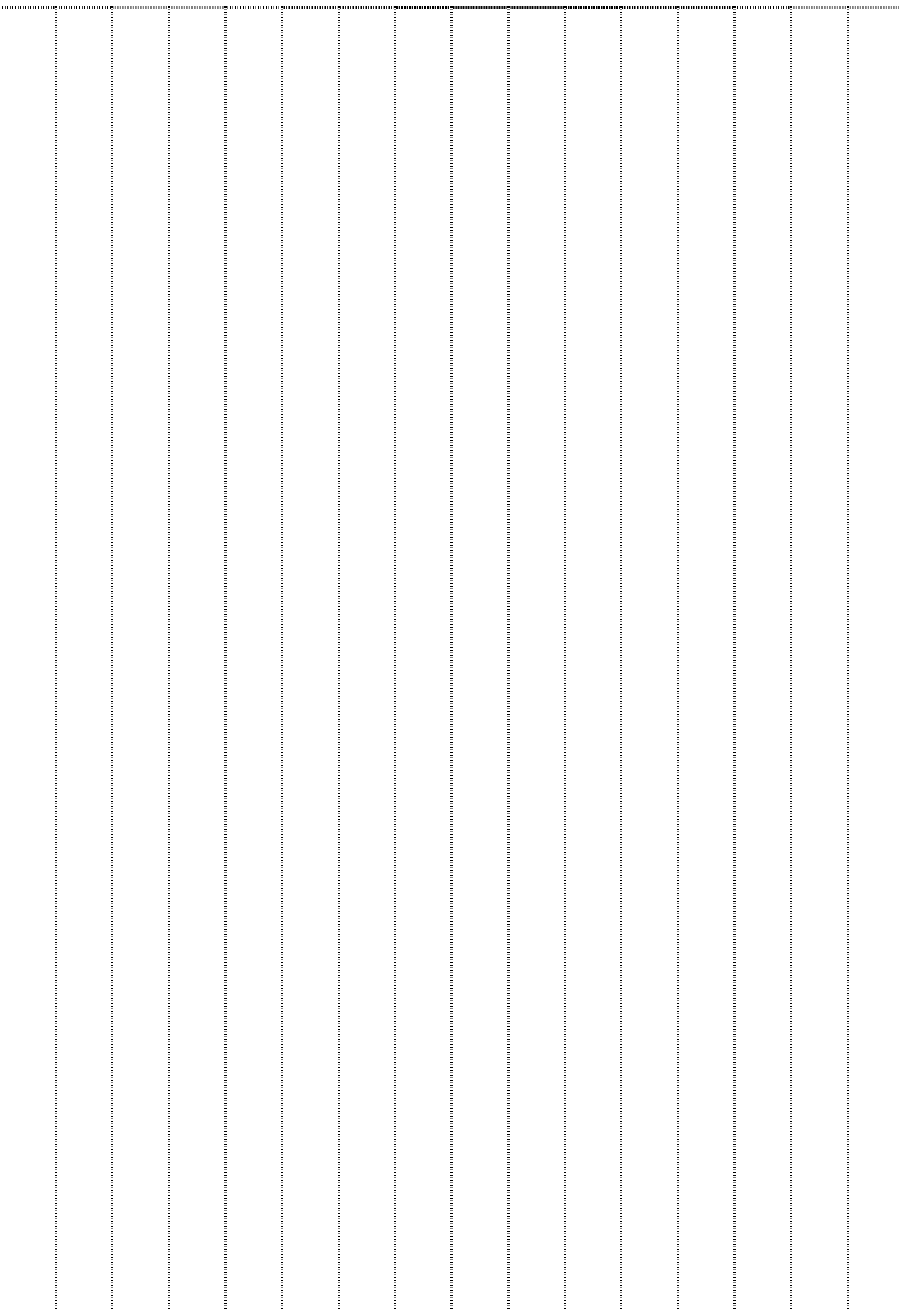
筆者の考え方について話し合い、自分の考えをまとめよう

□筆者の考え方を話し合おう

③ 「『誰かの代わりに』という意識」とはどういうことか。

なぜそれが大切なのか。

□筆者の考えに対する自分の考え方を書こう



情報を読み取って文章を書こう

三年 組 番 氏名 ( )

学習目標

[Empty rectangular box for learning objectives]

着眼点

数値の大きい部分 (小さい) 部分

「変化」の大きい部分

全体の傾向

○小論文

第一段落

(グラフから読み取ったこと)

[Grid for writing the first paragraph]

100 文字

第二段落

(自分の考え)

[Grid for writing the second paragraph]

100 文字

情報を読み取って文章を書こう（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

グラフから情報を読み取り、自分なりの考えをまとめて小論文を書こう。

着眼点

数値の大きい部分（小さい）部分

「変化」の大きい部分

全体の傾向

○小論文

第一段落

（グラフから読み取ったこと）

的	若	の	い	最
に	い	七	ち	も
多	時	十	ば	読
い	期	パ	ん	書
こ	に	ー	多	す
と	読	セ	く	べ
を	書	ン	、	き
示	す	ト	二	時
し	べ	以	十	期
て	き	上	歳	を
い	と	に	ま	十
る	考	及	で	歳
。	え	ぶ	と	代
	て	。	答	と
	い	こ	え	答
	る	の	た	え
	人	こ	人	た
	が	と	は	人
	圧	は	全	が
	倒	、	体	

100文字

第二段落

（自分の考え）

自	の	観	知	私
ら	こ	を	ら	た
を	と	知	な	ち
豊	を	り	い	十
か	吸	、	。	代
に	収	想	だ	は
し	で	像	か	、
た	き	力	ら	学
い	る	を	、	校
と	時	養	読	な
考	期	う	書	ど
え	に	こ	を	の
る	、	と	通	身
。	読	が	し	近
	書	必	て	な
	を	要	多	世
	楽	だ	様	界
	し	。	な	し
	み	多	価	か
	、	く	値	

100文字

情報を読み取って文章を書こう

三年 組 番 氏名 (

学習目標

--

助言の観点	さんへの助言	さんへの助言	私への助言
<ul style="list-style-type: none"> <li>・段落構成</li> <li>・字数</li> <li>・資料の読み取り</li> <li>・論理的</li> <li>・わかりやすい</li> <li>・端的</li> </ul>			

○小論文(書き直し)



情報を読み取って文章を書こう（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

小論文を読み合って、良い点、改善点を見つけてさそう。

助言の観点	さんへの助言	さんへの助言	私への助言
・段落構成	○	一段に自分の考えがある	○
・字数	少し少ない	○	もう少しだけ増やす
・資料の読み取り	○	分かりにくい	○
・論理的	○	○	グラフとつながっていない
・わかりやすい	言葉が難しい	まわりくどい	○
・端的	端的すぎる	同じことを繰り返している	○

○小論文（書き直し）





学習目標

Blank box for student information

P174

①

梗概

橋桁

栈橋

④

( )

②

貪欲

収賄

購入

⑤

( )

③

悦楽

怨念

慰労

⑥

( )

④

詐欺

訃報

詮索

③

( )

⑤

犠牲

牧師

特許

⑤

( )

②

ア紅

ア血眼

イ眼科

①

( )

②

ア氏神

イ氏名

⑤

( )

④

詐欺

訃報

詮索

③

( )

③

弾劾・該当・骸骨

②抵抗・炭坑・航海

①

( )

⑤

( )

③

( )

①

( )

②

( )

④

( )

②

( )

⑤

( )

①

( )

②

( )

③

( )

④

( )

⑤

( )

①

( )

②

( )

③

( )

④

( )

⑤

( )

P175

①

( )

③

( )

⑤

( )

④

( )

②

( )

③

( )

④

( )

⑤

( )

⑥

( )

⑦

( )

⑧

( )

⑨

( )

⑩

( )

①

( )

②

( )

③

( )

④

( )

⑤

( )

⑥

( )

⑦

( )

⑧

( )

④ ③ ② ①  
引 今 花 忘  
率 昔 園 恩

・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
工 ウ イ ア  
雄 深 退 貸  
姿 浅 路 与

┌ ┐ ┌ ┐

④ ③ ② ①  
垣 墮 失 塑  
根 落 墜 像

┌ ┐ ┌ ┐

⑩ ⑨ ⑧ ⑦ ⑥ ⑤ ④ ③ ② ①  
邦 建 難 石 瓦 澁 胃 朱 蚊 座  
楽 坪 癖 碑 版 柿 袋 色 柱 禪

┌ ┐ ┌ ┐ ┌ ┐ ┌ ┐ ┌ ┐ ┌ ┐ ┌ ┐ ┌ ┐

┌ ┐ ┌ ┐ ┌ ┐ ┌ ┐ ┌ ┐ ┌ ┐ ┌ ┐ ┌ ┐

③ ② ① P176

┌ ┐ ┌ ┐

⑥ ⑤ ④ ③ ② ①  
近 武 外 廢 万 感  
畿 者 科 藩 有 慨

・  
・  
・  
・  
・  
・

┌ ┐ ┌ ┐ ┌ ┐ ┌ ┐ ┌ ┐

⑥ ⑤  
ア ア

┌ ┐  
イ イ  
┌ ┐

┌ ┐

三年 組 番 氏名 ( )

学習目標

一・二年生で学んだ漢字の復習と三年生の新出漢字に慣れよう。

P174

(こうがい) (はしげた) (さんばし)

① 梗概 橋桁 棧橋 (どんよく) (しゅうわい) (こうにゅう)

② 貪欲 収賄 購入 (えつらく) (おんねん) (いろろ)

③ 悦楽 怨念 慰労 (さぎ) (ふほう) (せんさく)

④ 詐欺 訃報 詮索 (ぎせい) (ぼくし) (とつきよ)

⑤ 犠牲 牧師 特許

(べに) (こう) (まなこ) (がん)

③ ア紅イ紅茶 ② ア血眼 イ眼科 (うじ) (し)

④ ア氏神 イ氏名

(がい) (こう)

② 弾劾・該当・骸骨 ② 抵抗・炭坑・航海

① (包含・嫉妬) ② (有無・損得)

③ (氷解・船出) ④ (施策・解雇)

⑤ (象牙・融点)

① (しきしだい)

意味【式の順序】

② (さはんじ)

意味【ごくありふれたこと】

③ (いっちよういっせき)

意味【きわめてわずかな時間】

④ (ぼうじゃくぶじん)

意味【勝手にふるまうさま】

⑤ (ごんごどうだん)

意味【とんでもないこと】

⑥ (とういそくみよう)

意味【気が利いていること】

④ (ながうた) ① 訓訓

⑤ (きゆうじょう) ② 音音

⑥ (ぶたにく) ③ 湯桶読み

⑦ (きゆうだん) ④ 音音

⑧ (がנג) ⑤ 音音

⑨ (がくぶち) ⑥ 重箱読み

⑩ (なかす) ⑦ 湯桶読み

⑪ (そち) ⑧ 音音

⑫ (こがね) ⑨ 音音

⑬ (かんぬし) ⑩ 重箱読み

⑭ (ぼくとう) ① イ (しない)

⑮ (てんぽ) ② イ (しにせ)

⑯ (おうとつ) ③ イ (でこぼこ)

⑰ (こうさ) ④ イ (じやり)

P175

① (架) ける ② (得) る

③ (生い) 立ち ④ (收拾)

⑤ (驚異) 的

⑧ (遡) る

① (ながうた) ① 訓訓

② (きゆうじょう) ② 音音

③ (ぶたにく) ③ 湯桶読み

④ (きゆうだん) ④ 音音

⑤ (がנג) ⑤ 音音

⑥ (がくぶち) ⑥ 重箱読み

⑦ (なかす) ⑦ 湯桶読み

⑧ (そち) ⑧ 音音

⑨ (こがね) ⑨ 音音

⑩ (かんぬし) ⑩ 重箱読み

⑨ (ぼくとう) ① イ (しない)

⑩ (てんぽ) ② イ (しにせ)

⑪ (おうとつ) ③ イ (でこぼこ)

⑫ (こうさ) ④ イ (じやり)

⑤ア ( ざんねん ) イ ( なごり )  
 ⑥ア ( さいたん ) イ ( もより )

⑩  
 ①感慨 ( 無量 ) ・ かんが いむりよう )  
 ②万有 ( 引力 ) ・ ばんゆう いんりよく )  
 ③廢藩 ( 置県 ) ・ はいはんちけん )  
 ④外科 ( 手術 ) ・ げかしゆじゆつ )  
 ⑤武者 ( 修行 ) ・ むしやしゆぎよう )  
 ⑥近畿 ( 地方 ) ・ きんきちほう )

① ( ウ ) ぜんじ  
 ② ( イ ) しょうめい  
 ③ ( イ ) ちんしゃ

②  
 ①座禪 ( ざぜん ) ア )  
 ②蚊柱 ( かばしら ) イ )  
 ③朱色 ( しゆいろ ) ウ )  
 ④胃袋 ( いぶくろ ) ウ )  
 ⑤渋柿 ( しぶがき ) イ )  
 ⑥瓦版 ( かわらばん ) エ )  
 ⑦石碑 ( せきひ ) ア )  
 ⑧難癖 ( なんくせ ) ウ )  
 ⑨建坪 ( たてつぼ ) イ )  
 ⑩邦楽 ( ほうがく ) ア )

③  
 ①塑像 ( そぞう )  
 ②失墜 ( しつつい )  
 ③墮落 ( だらく )  
 ④垣根 ( かきね )

④  
 ①忘恩 ( ぼうおん ) たいよ )  
 ②花園 ( はなぞの ) たいろ )  
 ③今昔 ( こんじゃく ) しんせん )  
 ④引率 ( いんそつ ) ゆうし )

~~ア貸与  
 イ退路  
 ウ深淺  
 エ雄姿~~

「ない」の違いがわからない？

三年 組 番 氏名 ( )

学習目標

1 ① カップに温かい紅茶を注ぐ。

② 新鮮な魚を手早く調理する。

③ 郵便ポストに手紙を出しに行く。

④ バスの出発時刻を確かめておく。

⑤ 選手たちは一斉にプールに飛び込んだ。

2 ① 自転車で河原に行ってみる。

② 合唱団の歌声が講堂に響き渡った。

③ 飛行船がゆっくりと上空を通過した。

④ 日が傾いて、空も海も赤く染まった。

⑤ 祖父は繰り返し平和の尊さを語った。

⑥ 妹ばかりでなく、弟まで僕に反対した。

3 ① 自立語を全て選ぼう。

② 付属語を全て選ぼう。

③ 活用する単語を全て選ぼう。

④ 活用しない単語を全て選ぼう。

- ① ドア 北海道 一つ 「」 「」 「」
- ② 回る 味わう 植える 「」 「」 「」
- ③ しかし そして だが 「」 「」 「」
- ④ ああ おはよう さあ 「」 「」 「」
- ⑤ もし ゆっくり さらにさら 「」 「」 「」
- ⑥ 爽やかだ 無理だ 急だ 「」 「」 「」
- ⑦ この あらゆる おかしな 「」 「」 「」
- ⑧ 寒い みずみずしい 新しい 「」 「」 「」
- ① ア 小さな花が咲いている。  
イ 上着に小さい穴が空く。
- ② ア いろんな国を旅したい。  
イ いろいろな絵はがきを集める。
- ③ ア それは私の宝物です。  
イ その絵は僕が描いたものです。
- ④ ア 彼らは楽しそうに笑い、歌った。  
イ 兄はかすかな笑いを浮かべた。
- ⑤ ア 子孫のために地球の自然を守る。  
イ 膝のかすり傷が自然に治った。
- ⑥ ア あなたとまた会いたいと思います。  
イ 彼女は画家であり、また詩人でもある。
- ⑦ ア あれが私の通っている学校です。  
イ あれ、田中さんはどこに行ったのかな。

- ① まもなく彼が来る時間だ。      〔A〕  
 ② もう少し落ち着いて話せ。      〔A〕  
 ③ 校門の前で友達を待つ。      〔A〕  
 ④ 人の嫌がることはしない。      〔A〕  
 ⑤ 試合開始から三十分が過ぎた。      〔A〕  
 ⑥ 窓を閉めれば、静かになる。      〔A〕
- ① この本は小学生には難しい。      〔A〕  
 ② 遠回りをしたほうが安全だろう。      〔A〕  
 ③ 早ければ、正午に着くはずだ。      〔A〕  
 ④ 夕方の商店街はにぎやかだった。      〔A〕  
 ⑤ 真っ白な雲が浮かんでいる。      〔A〕  
 ⑥ 詳しい地図で道順を確かめる。      〔A〕

- ① 食卓にスプーンとフォークを並べた。  
 ② バスで行けば、すぐ着くはずだよ。  
 ③ 時間が遅いので、今日は帰ります。  
 ④ 明日こそ倉庫の掃除をしたいと思う。  
 ⑤ 友達に急に声をかけて、驚かせてしまった。

① ノートの表紙に名前を書く。      〔      〕

ア 犬がそばに寄ってきた。

イ 電車の後、さらにバスに乗る。

ウ 先生は穏やかに話になった。

② 晴れたから、洗濯物を外に干そう。

ア 北の方から風が吹いてきた。

イ 今日には疲れたから、早く寝よう。

ウ 牛乳からバターを作る。

③ 外は寒いが、部屋の中は暖かい。

ア 私が司会を務めます。

イ 兄は人を笑わせることが好きだ。

ウ よく考えたが、結論は出なかった。

④ 部屋の掃除は終わりましたか。

ア 何かおいしい物を食べましょう。

イ 参加するかしないか決めてください。

ウ 最近、どんな本を読みましたか。

① これは僕の腕時計だ。

ア このパソコンは持ち運びに便利だ。

イ 待ち合わせの時刻は午前十時だ。

ウ 皆眠っていて家の中は静かだ。

② 彼の笑顔は太陽のようだ。

ア 池の水面がまるで鏡のようだ。

イ 赤ん坊はどうやら眠たいようだ。

ウ 熱戦に、観客は満足したようだ。

③ 電車はまもなく終点に着くそうだ。

ア 今夜は昨日よりも寒そうだ。

イ この人形は今にも動きそうだ。

ウ 練習の開始時間が変わるそうだ。

④ 明日は風が強いらしい。

ア 向こうから来るのは彼らしい。

イ 小鳥の鳴き声が愛らしい。

ウ 春らしい色のシャツを着る。

⑤ 先輩から励ましの声をかけられる。

ア 朝の風が快く感じられる。

イ 先生はまもなくここに来られる。

ウ 向こうのドアからも外に出られる。

エ 監督に実力を認められる。



「ない」の違いがわからない？（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

「文法のまとめ」に取り組み、文法の知識を整理しよう。

1 ① カップに温かい紅茶を注ぐ。

② 新鮮な魚を手早く調理する。

③ 郵便ポストに手紙を出しに行く。

④ バスの出発時刻を確かめておく。

⑤ 選手たちは一斉にプールに飛び込んだ。

2 ① 自転車で河原に行ってみる。

② 合唱団の歌声が講堂に響き渡った。

③ 飛行船がゆっくりと上空を通過した。

④ 日が傾いて、空も海も赤く染まった。

⑤ 祖父は繰り返し平和の尊さを語った。

⑥ 妹ばかりでなく、弟まで僕に反対した。

3

① 自立語を全て選ぼう。

「アウエオカクサシソタ

② 付属語を全て選ぼう。

「イキコセチ

③ 活用する単語を全て選ぼう。

「ウエクシタ

④ 活用しない単語を全て選ぼう。

「アイオカキケコサスセソチ

- ① ドア 北海道 一つ 「 窓 」
- ② 回る 味わう 植える 「 変わる 」
- ③ しかし そして だが 「 だから 」
- ④ ああ おはよう さあ 「 いいえ 」
- ⑤ もし ゆっくり さらにさら 「 とても 」
- ⑥ 爽やかだ 無理だ 急だ 「 のどかだ 」
- ⑦ この あらゆる おかしな 「 どの 」
- ⑧ 寒い みずみずしい 新しい 「 浅い 」
- ① ア 小さな花が咲いている。 「 a 」
- イ 上着に小さい穴が空く。 「 b 」
- ② ア いろんな国を旅したい。 「 b 」
- イ いろいろな絵はがきを集める。 「 a 」
- ③ ア それは私の宝物です。 「 a 」
- イ その絵は僕が描いたものです。 「 b 」
- ④ ア 彼らは楽しそうに笑い、歌った。 「 b 」
- イ 兄はかすかな笑いを浮かべた。 「 a 」
- ⑤ ア 子孫のために地球の自然を守る。 「 a 」
- イ 膝のかすり傷が自然に治った。 「 b 」
- ⑥ ア あなたとまた会いたいと思います。 「 a 」
- イ 彼女は画家であり、また詩人でもある。 「 b 」
- ⑦ ア あれが私の通っている学校です。 「 a 」
- イ あれ、田中さんはどこに行ったのかな。 「 b 」

- ① まもなく彼が来る時間だ。      ① A [ ] d [ ] B [ ] エ [ ]
- ② もう少し落ち着いて話せ。      ② A [ ] a [ ] B [ ] ア [ ]
- ③ 校門の前で友達を待つ。      ③ A [ ] a [ ] B [ ] ウ [ ]
- ④ 人の嫌がることはしない。      ④ A [ ] e [ ] B [ ] ア [ ]
- ⑤ 試合開始から三十分が過ぎた。      ⑤ A [ ] b [ ] B [ ] エ [ ]
- ⑥ 窓を閉めれば、静かになる。      ⑥ A [ ] c [ ] B [ ] オ [ ]

- ① この本は小学生には難しい。      ① A [ ] ○ [ ] B [ ] ウ [ ]
- ② 遠回りをしたほうが安全だろう。      ② A [ ] △ [ ] B [ ] オ [ ]
- ③ 早ければ、正午に着くはずだ。      ③ A [ ] ○ [ ] B [ ] オ [ ]
- ④ 夕方の商店街はにぎやかだった。      ④ A [ ] △ [ ] B [ ] イ [ ]
- ⑤ 真っ白な雲が浮かんでいる。      ⑤ A [ ] △ [ ] B [ ] エ [ ]
- ⑥ 詳しい地図で道順を確かめる。      ⑥ A [ ] ○ [ ] B [ ] エ [ ]

- ① 食卓にスプーンとフォークを並べた。      ① A [ ] B [ ]
- ② バスで行けば、すぐ着くはずだよ。      ② A [ ] B [ ]
- ③ 時間が遅いので、今日は帰ります。      ③ A [ ] B [ ]
- ④ 明日こそ倉庫の掃除をしたいと思う。      ④ A [ ] B [ ]
- ⑤ 友達に急に声をかけて、驚かせてしまった。      ⑤ A [ ] B [ ]

① ノートの表紙に名前を書く。      「ア」

ア 犬がそばに寄ってきた。

イ 電車の後、さらにバスに乗る。

ウ 先生は穏やかに話しになった。

② 晴れたから、洗濯物を外に干そう。

「イ」

ア 北の方から風が吹いてきた。

イ 今日**は**疲れたから、早く寝よう。

ウ 牛乳からバターを作る。

③ 外は寒い**が**、部屋の中は暖かい。

「ウ」

ア 私が司会を務めます。

イ 兄は人を笑わせることが好きだ。

ウ よく考えた**が**、結論は出なかった。

④ 部屋の掃除は終わりましたか。

「ウ」

ア 何かおいしい物を食べましょう。

イ 参加するか**し**ないか決めてください。

ウ 最近、どんな本を読みましたか。

① これは僕の腕時計だ。

「イ」

ア このパソコンは持ち運びに便利だ。

イ 待ち合わせの時刻は午前十時だ。

ウ 皆眠っていて家の中は静かだ。

② 彼の笑顔は太陽のようだ。

「ア」

ア 池の水面がまるで鏡のようだ。

イ 赤ん坊はどうやら眠たいようだ。

ウ 熱戦に、観客は満足したようだ。

③ 電車はまもなく終点に着くそうだ。

「ウ」

ア 今夜は昨日よりも寒そうだ。

イ この人形は今にも動きそうだ。

ウ 練習の開始時間が変わるそうだ。

④ 明日は風が強いらしい。

「ア」

ア 向こうから来るのは彼らしい。

イ 小鳥の鳴き声が愛らしい。

ウ 春らしい色のシャツを着る。

⑤ 先輩から励ましの声をかけられる。

「エ」

ア 朝の風が快く感じられる。

イ 先生はまもなくここに来られる。

ウ 向こうのドアからも外に出られる。

エ 監督に実力を認められる。

学習目標

○感想 「エルサルバドルの少女 ヘース」

○感想 「紛争地の看護師」

○本の世界を広げよう

謎のアジア納豆 ・ 友情

学習目標

2つのノンフィクションを読み、読書が自分の生き方をどう支えているのか話し合おう。

○感想「エルサルバドルの少女 ヘースス」

私が共感したことは・・・

私が疑問に思ったことは・・・

○感想「紛争地の看護師」

私が共感したことは・・・

私が疑問に思ったことは・・・

○本の世界を広げよう

謎のアジア納豆 ・ 友情

学習目標

--

○筆者から見たレストランの二人の女性

--

○レストランの二人の女性から見た筆者

--

○私の感想


○仲間の感想など


学習目標

「温かいスープ」の人間関係を読み取り感想を書こう。

○筆者から見たレストランの二人の女性

日本人の私に差別することなく、むしろ無償で食べ物を提供してくれてこの二人には感謝でいっぱいだ。

○レストランの二人の女性から見た筆者

きっと給料が安くて月末になるとお金が足りなくなるのね。困ったときはお互い様。

○私の感想

○仲間の感想など

--	--	--	--	--	--



学習目標

○筆者の伝えたい国際性とは？

○仲間の意見など

○「二人一人の平凡な日常の中で、それは試されているのだ。」とは？

○仲間の意見など

三年 組 番 氏名（

）

学習目標

「温かいスープ」の筆者の伝えたい国際性とは何かを考えよう。

○筆者の伝えたい国際性とは？

人種や好き嫌いでも人を判断せずに、相手が困っているならば自分のできることをするという優しさが必要である。それは、相手も自分も同じ人類という点では何も違わないという点において、仲間であると考えられるからできることであり、そこに国境はないので、国際性と言える、と言っているのだと考える。

○仲間の意見など

○「二人一人の平凡な日常の中で、それは試されているのだ。」とは？

日常生活では、国際性などという意識はないかもしれないが、相手を思いやるという優しさは国際性として大切なことであるから、いつでも試されているのだ。と、筆者は伝えたいのではないだろうか。

○仲間の意見など

学習目標

○自分にとっての「国際性」について、考えをまとめよう。

○仲間の意見など

三年 組 番 氏名（

学習目標

国際性について自分自身の考えをまとめよう。

○自分にとっての「国際性」について、考えをまとめよう。

正直今まで国際性ということについて考えたことはなかった。現在外国に住んではいるものの、好きでこちらに来たわけでもないし、日本での生活を懐かしく思うことの方が多い。

自分の体験を振り返ると、エレベーターで何気なくあいさつをしている隣人のことが思い出される。よくあいさつをしてくれる人だと思っていたが、歴史の学習をして、私たち日本人にはない警戒心というか、一つの自己防衛であったことが分かった。この体験から、普段私たち日本人には当たり前でも、世界では通用しない常識がたくさんありそうだ。この「当たり前はない」気持ちで周囲を見つめ直すと、なるほどと思えることがいくつかある。夕食をとる時間帯であったり、大人と子供の生活スタイルの違いだったり、日本では考えられないことが多い。いろいろな国の人が、その国の常識に沿って生活を送っている。このことを再認識するだけでも大きな国際性、国際感覚というのではないだろうか。

○仲間の意見など

- ・人を差別しない姿勢
- ・人の立場に立って考える姿勢。
- ・相手の気持ちを尊重する姿勢。

わたしを束ねないで

三年 組 番 氏名 (

学習目標

○わたしを束ねるとは？

○気になる言葉や表現方法 効果

○わたしを束ねないでとは？

わたしを束ねないで（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

意味をかみしめながら本文を読もう。

○わたしを束ねるとは？

- ・束ねるとはグルグルとひもで巻いてまとめること。
- ・わたしという人を他の人と同じ扱いをされてしまうこと。

○気になる言葉や表現方法 効果

- ・束ねないで、止めないで、注がないで、名付けないで
- ・「わたしをくくらないで」の繰り返しで、願いを強くだしている。
- ・「比喩表現」くくのように を使ってくくしないで を強調している。

○わたしを束ねないでとは？

- ・色々な可能性をもっているのが人。
- ・周囲が勝手に決めつけてしまうのは嫌だ。
- ・自分は自分なので、自由にさせてほしい。

わたしを束ねないで

三年 組 番 氏名 (

学習目標

○筆者の思いについて感じたこと

○自分の可能性や未来についてのイメージ

学習目標

詩と結び付けて、自分の可能性や未来について考えよう。

○筆者の思いについて感じたこと

- ・ 曲げたくない自分があるということ自体が素晴らしいことだと感じた。
- ・ 自分自身をとでも大切にしているのだと感じた。
- ・ 自分はこれだけ自分自身のことを考えたことがなかった。

○自分の可能性や未来についてのイメージ

私はずいぶん悩んできたが、このまま日本を離れて生きていくことができないだろうかと考えることが多くなった。ここでの生活の中で、価値観を広くできたと感じているし、自分の可能性については、ずっと信じていきたいからだ。そのチャンスがあるような気がする。

筆者は自分を束ねないでと叫んだが、私は「自分を自分で決め付けない」ということをずっと心の中に置いておきたいと思う。きっと私がだめだと思ったら、私はだめになり、できると思ったことが現実となっていくのだと思う。

この先のことは、誰にも分からない。分からないということは、逆に言えば、なんとでもなるということだ。つまり、自分が思うようになれる。この可能性だけは、自分のものとして大切にしていきたい。



三年間の歩みを振り返ろう

三年 組 番 氏名 (

学習目標

○学習計画

- 一 時間目                      テーマ決め・準備を考える
- 二 時間目                      構成を考える
- 三・四 時間目                  冊子を作る
- 五・六 時間目                  発表会・振り返り

○テーマ

○準備

三年間の歩みを振り返ろう（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

冊子にまとめて発表するためにテーマを決めて準備を考えよう。

○学習計画

- 一時間目                    テーマ決め・準備を考える
- 二時間目                    構成を考える
- 三・四時間目                冊子を作る
- 五・六時間目                発表会・振り返り

○テーマ

・言葉でたどる私の学び

○準備

- ・一、二年生の教科書
- ・一、二年生のノート
- ・漢字辞典、国語辞典
- ・家族へのアンケート？

三年間の歩みを振り返ろう

三年 組 番 氏名 ( )

学習目標

○冊子の構成

- 表紙 タイトル、名前
- 中面 観点の整理と掲載
- 裏表紙 編集後記

○テーマ

裏表紙	中面	表紙
編集後記		タイトル

三年間の歩みを振り返ろう（記入例）

三年 組 番 氏名（

学習目標

冊子の構成を考えよう。

○冊子の構成

表紙 タイトル、名前

中面 観点の整理と掲載

裏表紙 編集後記

○テーマ

裏表紙	中面	表紙
編集後記		タイトル

三年間の歩みを振り返ろう

三年 組 番 氏名 ( )

学習目標

○仲間の発表を聞いて

三年 組 番 氏名（

学習目標

発表会で相手に分かりやすく伝えよう。

○仲間の発表を聞いて

- ・ 三年間の思いにあふれていた。
- ・ 同じ思いを持てたことに安心した。
- ・ これからもつながっていきたいという思いを強く持った。

学習目標

- ① 多数決を ( ) ( ) する。  
 ② 指揮を ( ) ( ) する。  
 ③ ボールを ( ) ( ) する。  
 ④ 写真を ( ) ( ) する。

- ② ① 事故の ( ) ( ) 止に努める。  
 ② 議事の進行が ( ) ( ) される。

- ③ ① 問題の ( ) ( ) に迫る。  
 ② 技術 ( ) ( ) が進む。  
 ③ 勝利を ( ) ( ) する。

- ④ ① 作物を収 ( ) ( ) する  
 ② 賞品を ( ) ( ) 得する。

- ⑤ ① 危機に ( ) ( ) する。  
 ② 手を ( ) ( ) する。  
 ③ 教室が ( ) ( ) する。

- ⑥ ① 繁栄 ( ) ( ) する。  
 ② 看病 ( ) ( ) する。  
 ③ 濃厚 ( ) ( ) する。  
 ④ 悲哀 ( ) ( ) する。

学習目標

これまでの学習を生かして漢字の読み書きをしよう。

①

- ①多数決を (採) する。
- ②指揮を (執) する。
- ③ボールを (捕) する。
- ④写真を (撮) する。

②

- ①事故の (防) 止に努める。
- ②議事の進行が (妨害) される。

③

- ①問題の (核心) に迫る。
- ②技術 (革新) が進む。
- ③勝利を (確信) する。

④

- ①作物を収 (穫) する
- ②賞品を (獲) 得する。

⑤

- ①危機に (陥) する。
- ②手を (携) える。
- ③教室が (汚) い。

⑥

- ①繁栄 (隆盛)
- ②看病 (介抱)
- ③濃厚 (希薄)
- ④悲哀 (↕)







学習を振り返ろう

三年 組 番 氏名 ( )

学習目標

① 228 ページ


②

① 229 ページ

②

問い 三つめは、皆さんに考えてもらいます。

答えでは、正解です。

① 230  
ページ


②

私は、A (B) を選びます。なぜなら、

三年 組 番 氏名（

学習目標

問題に取り組み、身につけた力を確認しよう。

228 ページ

①安全に暮らすための知恵など、アイヌ民族が長い年月にわたって生活を営みながら生み出してきた知恵。

229 ページ

①ア

②三つ目は、皆さんに考えてもらいます。午後三時頃のことを、昔は「八つ」と呼んでいました。ここからできた現在でも使われる言葉は何でしょう。

では、正解です。この頃になると、おなががすくので、人々は間食をとっていました。午後三時頃を表す「八つ」に「お」をつける。すると「おやつ」になります。こうしてこの時間帯のことを「おやつ」と呼ぶようになりました。

230 ページ

①Aはどの指のどこに何をするのが詳細に説明されているのに対し、Bは例えを出して簡潔に説明されている。

②私はAを選びます。なぜなら詳細な手順が段階的に示されているからです。Bの図を使うよりも一つ一つの指の動きが明確になると考えます。

②私はBを選びます。なぜなら中学1年生ならば正しい鉛筆の持ち方を理解しており、そのイメージで考えることができるため、Aの図を使うよりも余分な説明の手間が省けると考えるからです。